

CLIP

HA K O D A T E

CLIP
[クリップ函館] vol.15

特別が日常になる。



福井 晴江
金子眼鏡店
ESTABLISHED 1958

函館市末広町17-1 TEL/0138-22-3070
10:29~19:29
不定休 駐車場有(元町パーキング2F)

www.kaneko-optical.co.jp



金子眼鏡の公式サイト

今更ながら
ハラスメントの話。

H A R A S S M E N T

上村春奈
澤口ありさ
谷口拓也
櫻坂麻規子
CLIP GALLERY
ムラカミコウスケ
CLIP ZAPPING
荒木あけみ
櫻坂麻規子
中川大介
夏井俊介
平野陽子
田畑裕征
小宮伸二
松田夏海
はがなつの
大下智一
谷川真弓子
ロコ・ボッティンジャー
北見伸子
中村ひでのり
KOTOMI

HI INFORMATION
HIFからのお知らせ
参加者たちの声
岡村留奈
DEAR WOMEN
能戸圭恵
川村幾代
リーラ
新垣加奈
from H
道南のイベント情報いろいろ

TAKE
FREE

2025年5、6月号(毎月発行)
2025年5月1日発行
発行人/池田 誠 編集人/中村ひでのり

CLIP HAKODATE 編集室
HAKODATE INFORMATION
(取材)北海道新聞交流センター(HIF)
040-0054 函館市定町14-1 TEL. 0138-22-0770 FAX. 0138-22-0680



しながき加奈
ウィメンズクリニック

SHINGAKI KANA WOMENS CLINIC

生理の悩み/更年期の相談/不妊症/小児・思春期の婦人科相談/
子宮がん検診/プラセンタ/子宮頸がんワクチンなど

【診療時間】	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00 (受付9:00~11:30)	●	—	●	●	●	—
14:00~17:00 (受付14:00~16:30)	●	—	●	●	●	—
10:00~15:00 (受付10:00~14:30)	—	—	—	—	—	●

【休診】火・日・祝日・年末年始・お盆
【診療受付時間】月・水・木・金/午前11:30まで。午後16:30まで。
土/14:30まで。

函館市五稜郭町35-12 ブルーミィ五稜郭1F
Tel. 0138-83-2551 URL. <https://sk-womens.com>



完全予約制
ご予約はHPから→



函館の味、
キッコーカワイチの味。



私どもキッコーカワイチ・道南食糧工業は、
昭和十七年の創業以来、
函館唯一の味噌・醤油の製造元として、
ずっと変わらず函館のみならず、まから愛される味に
こだわってきました。

道南食糧工業(株)
北海道函館市栄町2-7 0138-22-2721

【直売所】
営業時間/
8:30~17:00
※土曜日は~15:00
定休日/
日曜日・祝日、第2・第4土曜日



昨年末から、今号でハラスメントを取り上げようと計画していたが、準備を始めたあたりから世の中は例のTV局の不祥事の報道だらけ。それに影響されたと思われるのも癪なのでやめようかとも考えたが、急に替わりのものも用意できず、このままやってしまえということにした。

なぜハラスメントについて取り上げようと思ったか。ある友人が「最近のハラスメントの話には、何かしっくりこないところがある」と話していたからだ。間違っではないが、少し行き過ぎているように思うと彼は言う。

自分も似たように思うところはある。そこで、非難を受けることも覚悟しつつ「何でもかんでもハラスメントと叫ぶのはいかなものか」という立ち位置で話を進めようと思った。ところが、雑誌の中では疑問を呈していた友人や、同様の発言をしていた他の知人たちも、「ぜひ言いたいことを言って欲しい」と顔出しを条件に取材依頼すると、そろって尻込みをする。まあそりゃそうだ。思っているまます口にしたら、あちこちから非難されそうだし、今の風潮に沿って無難な発言でまともに「お前だって昔やっていたじゃないか」と誰かに指摘されそうで怖い。つまり、取材を受けるメリットなんて何ひとつないのだ。

ハラスメントという言葉が、日本で認識されるようになったのはいつ頃のことか。1970年代にアメリカで叫ばれ始めたセクハラ(セクシャルハラスメント)の問題が、1980年代中頃から日本でも少しずつ取り上げられるようになり、1989年に日本で初めてセクハラを問う裁判が起こされたことで、広く知られるようになった。その後、2001年にはパワハラ(パワーハラスメント)という造語も生まれ、それ以降、様々な「〇〇ハラ」が誕生し、それは今、どれほどの数があるのかわからない。



H A R A S S M E N T

職場や家庭、学校などで、当たり前のようにハラスメントが横行し、社会がその問題に無頓着だった時代の映画やドラマ、漫画などを見ると、今では到底許されない状況がごく普通での日常として描かれている。1958年からスタートした森繁久彌主演の喜劇映画「社長シリーズ」など、今ならば、社長を含め登場する社員たちの多くが懲戒処分を受けるだろうし、1966年から「週刊少年マガジン」に連載された「巨人の星」の星 一徹は、DV親父として児童相談所、いや警察に通報されてもおかしくない。

「昭和の常識、令和の非常識」「昭和世代はパワハラ世代」「昭和マインドからの脱却」…と、何かと批判の対象となる「昭和」だが、80年代前半に社会人となった自分が当時のことを思い

返してみると、現在なら明らかに問題とされるであろう場面を数多く目にしてきた。そしてあれから数十年経った現在でも、残念ながらハラスメントは存在している。

● 誰もが自分の言動に気を使うようになったはずなのに、なぜかハラスメントについての相談件数は近年増加傾向にあるという。「ハラスメントに対する関心が高まった」「以前より、相談しやすい環境になった」ということかもしれないが、「過剰な被害者意識のせいだ」「そもそも最近の若い社員は耐性がない」と囁く中高年の声も聞く。また、「最近、ハラスメントについて腫れ物に触るようなムードがあり、職場がビリビリしている」とか、「コンプライアンス

を意識しすぎて、たびたび業務がフリーズしてしまう」といった話もある。正当な行為なのに「それはハラスメントだ」と攻め立てる「ハラハラ(ハラスメントハラスメント)」というハラスメントもあると聞くと、何が何やらわからなくなる。

悪名高き「昭和」の職場には、確実に被害者はおおぜいたし、それどころか自分が被害を受けていると認識していない被害者もおおぜいた。それが長い年月を経て、問題が具体的に示されたという点は大きな成果だろう。しかし、政治家やタレント、企業の役員、自治体の長などがパワハラやセクハラで職を追われたといった類の話は後を絶たない。「偉くなったら何をやってもいい」と勘違いする人間はいつの時代もいて、この先

(p4→)

特集

今更ながら

ハラスメントの話。

中村ひでのり / 取材文
イラストレーション / KOTOMI

「職場での代表的なハラスメント」

パワーハラスメント
Power Harassment
職場において、職務上の地位や人間関係などの優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて精神的・身体的苦痛を与える行為。

セクシャルハラスメント
Sexual Harassment
職場や学校、公共の場などで、相手の意に反する性的な言動や行為。性的指向や性自認に関する偏見に基づく言動も含まれる。

マタニティハラスメント
Maternity Harassment
妊娠や出産、育児を理由に職場で解雇、降格、減給などの人事上の不利益な扱いを受けたり、嫌がらせを受けたりすること。

モラルハラスメント
Moral Harassment
道徳や倫理に反した言動や態度で精神的な苦痛を与えること。物理的な暴力は伴わないが、言葉のDVとも呼ばれる。

リモートハラスメント
Remote Harassment
リモートワーク中に発生するセクハラやパワハラなどのハラスメント行為。周囲から発見されにくいという特徴がある。

パタニティハラスメント
Paternity Harassment
男性が育児休暇や時短勤務などの制度の利用したり、希望したりすることを理由に、周囲から嫌がらせを受けること。

ホワイトハラスメント
White Harassment
上司や先輩が、部下や後輩、同僚に対し、仕事の負荷をけないようにと過剰に気を使って仕事や指示を与えないこと。

ジェンダーハラスメント
Gender Harassment
キャリアや昇進に差をつけるなど、性別を理由とする差別や嫌がらせ、不当な負担や苦痛を与える行為。

テクノロジーハラスメント
Technology Harassment
ITの知識が不足している人に対して行われるいじめや嫌がらせ。ITリテラシーの高い人が低い人に対して行われる。

カスタマーハラスメント
Customer Harassment
顧客や取引先などからの理不尽な言動により、従業員の就業環境を害する行為。要求の妥当性があるクレームとは別。

エイジハラスメント
Age Harassment
業務の選定を年齢で行う、世代で一括りにするなど、年齢や世代について差別したり、嫌がらせをしたりする迷惑行為。

レイシャルハラスメント
Racial Harassment
日本人と外国人を分けて業務を進めたり、評価するなど、人種や民族、国籍を理由に差別や嫌がらせをする行為。

レリジャスハラスメント
Religious Harassment
特定の宗教を信仰する人に対する嫌がらせや不利益などにより、周囲の人に不快感を与える行為。

ロジカルハラスメント
Logical Harassment
正論を過剰に突きつけて、相手を混乱させたり、自信を奪ったりする言動や嫌がらせ。パワハラ的一种とされる。

ハラスメントハラスメント
Harassment Harassment
多様な種類のハラスメントが問題になっていることを背景に、正当な行為をハラスメントだと主張する嫌がらせ行為。

リストラハラスメント
Restructuring Harassment
不当な配置転換や業務負担の増加など、リストラ対象の従業員に対して嫌がらせや圧力をかけ、自主退職を促す行為。

スメルハラスメント
Smell Harassment
体臭や口臭、タバコの匂い、香水などの強い香りなどにより、周囲の人に不快感を与える行為。

サイレントハラスメント
Silent Harassment
表立って現れるものではなく、冷たい視線や無視、意図的に距離を取るといった「静かな形」で行われるハラスメント。

時短ハラスメント
Time Shortening Harassment
業務が終わっていないのに退社を強要するなど、業務量を減らさずに残業をせず定時退社を強要する行為。

アルコールハラスメント
Alcohol Harassment
飲酒の強要やイッキ飲ませ、酔いつぶしなど、飲酒にまつわる人権侵害行為。酔ったうえでの迷惑行為も含まれる。

パーソナルハラスメント
Personal Harassment
身体的な特徴をあだ名にしたり、口ぐせや仕草をまねるなど、個人の性格や容姿、話し方などをからかう行為。

● 職場におけるパワハラの種類

「身体的な攻撃」
● 殴打、足蹴りなど。
● 相手に物を投げつける。

「過大な要求」
● 労働者に業務とは関係のない私的な雑用の処理を強制的に行わせる。

「精神的な攻撃」
● 人格を否定するような言動。
● 長時間にわたって繰り返し行う業務に関する厳しい叱責。

「過小な要求」
● 管理職でもある労働者を退職させるため、誰でも遂行可能な業務を行わせる。

「人間関係からの切り離し」
● 一人の労働者に対して同僚が集団で無視をし、職場で孤立させる。

「個の侵害」
● 労働者を職場外で継続的に監視したり、私物の写真撮影をしたりする。

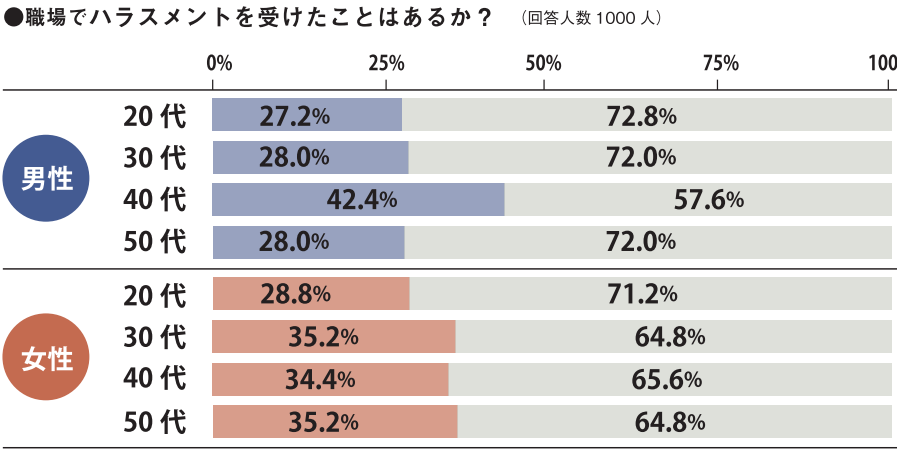
これもハラスメント。

エアハラ(エアコンハラスメント)エアコンの設定温度を強制する行為。コクハラ(告白ハラスメント)不適切な告白を行い、その後の対応で相手を感じる行為。ヌーハラ(ヌードルハラスメント)麺をする音を不快に感じる行為。ブリーハラ(ブリージングハラスメント)呼吸音が不快だと感じる行為。メシハラ(メシハラスメント)特定の食事を強制する行為。ドラハラ(ドラゴンボールハラスメント)特定のアニメを知らないことを非難する行為。ユビハラ(指詰めハラスメント)指を低めて書類を配る行為。ワリハラ(割り勘ハラスメント)割り勘の際に不公平な分け方を行為。クルハラ(グルメハラスメント)自分の食事の好みを他人に強要する行為。ラブハラ(ラブハラスメント)恋愛や性関係などをしつつ聞くことで、相手に不快な思いをさせる。タメハラ(タメロハラスメント)タメロを使って不快にさせる行為。カラハラ(カラオケハラスメント)カラオケで強制的に歌わせる行為。オカハラ(お菓子ハラスメント)職場で特定の人だけにお菓子を配り、一部を仲間外れにする行為。スモハラ(スモークハラスメント)喫煙を強要したり、煙を吹きかけたりする行為。クリハラ(クリスマスハラスメント)「クリスマス、どう過ごすの?」と人に尋ねること。

も存在し続けるだろう。また、確信犯は当たり前として、問題なのは、ハラスメントをしている自覚のないままハラスメントをしている人間だ。

●

JTUC(日本労働組合連合会)が実施した職場でのハラスメントに関する調査結果が下の表。「ハラスメントを受けたことがあるか?」と言う問いに、男性では40代が42.4%と突出しているが、女性の場合はどの世代もほぼ3割を超える。また、時代とともにその内容は変化していて、たとえばパワハラであれば、昔は殴る・蹴る・物を投げるなどの暴力(もはや犯罪)といった明



出典 / JTUC (日本労働組合連合会) 仕事の世界におけるハラスメントに関する実態調査 (2021)

H A R A S S M E N T

4 人の方たちがジャッジしたハラスメント10の事例。 ○ 問題なし ✕ 問題あり △ どちらとも言えない

●事例

「業務上の連絡に必要なだから」とLINEアカウントを社員同士で交換するように指示される。	○ ただし、自分から送ることはないと思う。	△ 基本的にOKだが、就業時間外、例えば夜や休日とかに連絡が入り、それに返信をしなければいけないことになるのは困る。	○ 頻繁にやりとりするのはまずいだろうが、緊急の連絡が必要な場合などは便利なので、いいと思う。	✕ 会社が用意した携帯で、仕事用のアカウントを使うのならいいが、個人のスマホを利用するのは、基本的にはバツですね。
上司が部下に、趣味や週末の過ごし方などを尋ねる。	△ コミュニケーションを取るためには必要だろうけれど、相手によっては嫌な場合もある。	○ 別に構わない。嫌なら、適当に受け流せばいいこと。	○ 相手のことをある程度知らなければ、円滑なコミュニケーションが取れないと思う。でも、若い女性には聞きづらいかも。	✕ 上司と部下との関係性にもよるし、聞き方にもよるが、根掘り葉掘り尋ねるのはあまり好ましくないと思います。
仕事が終わっていないが、上司から「残業は認めない」「早く帰れ」と言われる。	✕ 終わっていないのだったら、最後までやらせて欲しい。	✕ 無意味な残業ではなく、こちらが必要だと思っている場合、好きにさせて欲しい。	✕ やらなければいけない仕事があって、社員が残ってやりたいというのだから、それを止めるのはおかしい話。	○ 上司の指示なら仕方ありません。自己判断で残るのはNGです。
有給申請書に具体的な理由を書くことを求められる(「私用のため」は不可)。	✕ 絶対にバツ！	✕ そんなの勝手にしょ。	✕ 今はダメかもしれないが、昔は上司に言える範囲で理由を伝えていたと思う。	✕ 本人が言う分には構いませんが、「一身上の都合」で問題ありません。会社に言う義務はありません。
会社の後輩がSNSに「先輩がハズレ」など自分の悪口を書き込んでいるのを見つけた(業務時間外)。	○ 自己責任でやっているのであれば。	○ ムツとはするけど、今の時代、しょうがないかも。ただし、実名はアウト。	△ わからなければいいけれど、仕事の愚痴を関係のない複数の人間が見ることができるときに書き込むことはどうなのかと思う。	✕ 会社や個人が特定される恐れもあり、会社の品位を貶めることに繋がります。好ましくありません。
女性社員のネイルを、男性の上司が「似合うね」と褒める。	○ 全然大丈夫。	○ 別にいいじゃない。その何がハラスメントかわからない。	○ 褒めてるんだからいいじゃないかと思う。が、もしもそれが派手なものだったとしたら、職場にしてくるなというのが、本音だ。	△ 嬉しいととるか、嫌な気分になるか、関係性によるとと思います。
力仕事が必要な場面で、業務の担当ではない男性職員へ手伝いを頼む。	○ 男なんだから、力ありますよね。時間が空いているのならぜひお願いしたい。	○ 全然問題なし。担当以外の仕事はしないってなんやねん。	○ これのどこがダメなのか。もし手が空いているのなら手伝いを頼むことはなんの問題もない。	△ 常識の範疇なら構いませんが、「男性なんだから力仕事をやるのは当たり前」というのは、問題になる場合があります。
クライアントに提出する資料が前日の段階でできていない社員に、上司が「何時になってもいいから残業して仕上げて欲しい」と言う。	△ そうなる前に、部下は上司に相談すべきだし、上司も確認するべき。残って作業するなら上司も手伝うべきだと思う。	○ だって明日提出のものができていないんだから、仕上げるよって話じゃない。	○ 翌日までに提出しなければいけないのだから、何がなんでもやるのは当たり前。仮に朝までかかってでもやるべきだと思う。	○ 物理的に無理な場合はダメですが、納期が決まっているのですから仕方がないでしょう。ただし、残業代は支払われなければいけません。
本人が気づかないまま、上司が朝からずっと不機嫌そうにして、周囲の雰囲気重くなる。	✕ 絶対にイヤ。自分の機嫌は自分で取りなさい。	✕ 気づいてないというのは理由にならない。周囲に気を使うのは当然すべきこと。	✕ 今の時代ならアウトだと思う。思い返すと昔はそういう上司が結構いたなあ。	✕ もちろんアウトです。上司なら職場の雰囲気にはしっかりと配慮するべきです。。
上司がクールビス否定派のため、その部署のみ夏でも全員ネクタイを着用している。	✕ 上司の考えを押し付けられるのはいや。暑かったら業務にも影響しそう。	✕ 外部の人間と会うのであれば、ネクタイをする必要はないと思う。会社全体のルールでなければ、上司が強制するのはおかしい。	✕ その部署だけっていうのは明らかにまずい。	✕ 会社全体のルールなら別ですが、上司の勝手な考えなら、特別な理由がない限り問題になりますね。

社会的背景はあるにせよ、企業を対象とした厳しいセクハラ防止法なども制定されているそうだ。

つまりこの調査結果は、パワハラが実際に多い国というより、ハラスメントに対する意識が高く、積極的に調査に応じている国が上位にランクインしているように思われる。そもそも、世界と比較することはあまり意味がない。それぞれの国の歴史的背景や文化、習慣、政治体制によって状況は複雑に変わるところがこのようなデータを一括りにし、一部のメディアが、「日本はハラスメント大国だと騒ぎ立てていることには疑問がある。まあこれは参考程度に見ておけばいいだろう。もちろん、日本の状況に問題は無いと言っているわけではないので、誤解なきよう。

●

国際比較調査グループ ISSPが毎年行っている調査の中で、2015年「仕事」をテーマに調査した結果が右の表。「職場においてパワハラを受けた人の割合」が、日本はインド、オーストラリア、ニュージーランドに続き4位となり、その後にフランスが続く。主要先進国(G7)の中で日本は最も高いらしい。ただし、この数字をそのまま受け止めることには疑問もある。インド、中国を除くと上位はOECD諸国で占められていて、中東やアフリカなどでは、パワハラが少ないことになっている。しかし、5位のフランスはハラスメントに対する対策が世界の中でもいち早く進んでいる国。1992年に法律でセクハラ罪が定義され罰則も設けられている。また1位のインドもカースト制度などの

●パワハラ国際比較

1	インド	32.3%
2	オーストラリア	31.9%
3	ニュージーランド	29.6%
4	日本	25.3%
5	フランス	24.2%
6	ベルギー	19.1%
7	アイスランド	18.3%
8	フィンランド	18.0%
9	アメリカ	17.3%
10	デンマーク	17.2%
11	イギリス	16.0%
12	エストニア	14.2%
13	中国	14.1%

出典 / ISSP WorkOrientation IV (2015)
※仕事をしていない・上司・同僚がいないなどで「当てはまらない」とした回答や「無回答」を除いた集計。

S

M.Nさん
(29歳・女性)



●大学卒業後、東京都内の金融関係の会社に就職。2年前にUターンし、現在は函館市内の会社に勤務。

●ジャッジ

アメリカの大学内のハラスメント事情。

櫻坂麻規子 / HIFスタッフ

セクシャルハラスメントと言う言葉は、1970年代のアメリカで生まれた造語だ。この国には世界各地から移民たちが集まり、様々な人種、そして異なる宗教、文化、習慣を持った人たちが暮らす。それゆえ差別やハラスメントも起こりやすいということは想像に難くない。そんな移民大国アメリカで学生生活を送り、卒業後は南カルフォルニア大学の日本語講師として勤務した経験を持つHIFのスタッフ櫻坂麻規子さんに、アメリカの大学のハラスメント事情について話を伺った。

「私が勤務していたのもう10年以上前のことなので、現在の状況とは多少違っているかもしれないことを前提にお話しします。大学はある意味特殊な環境なので、一般の企業とは少し事情が違うかもしれません。私自身は、例えばパワハラとかセクハラの類を受けたというのはあまり記憶にありません。ただ、職場以外では「これって人種差別では?」と感じたことは多少経験しました」。

教育の場ということもあって、コンプライアンスは徹底されていたという。「ある時、アメリカ人の知人が日本はハラスメントに細かく名前がついていてユニークだと言っていました。アメリカの大学では数あるハラスメントの中でも、特にセクハラが

PROFILE

※11ページを参照。



フォーカスされています。私の職場では教職員は皆、『セクシャルハラスメントトレーニング』という教育プログラムの受講が義務付けられていました。これはオンラインで行うものですが、しっかりと内容を読みチェックを入れていかないと次に進めないように作られていて、徹底しているなあと思いました」。

また、相手の容姿について口にする時は、気をつけなければいけないと言う。「ルッキズム(※外見や容姿を基準に人を判断したり差別したりする思想や行動に関すること)には神経を使います。太っている。に類似する表現は完全にアウトですね。例えば、日本人が言いそうな『ぼっちゃりしててかわいいね』なんて以ての外。「背が高いね」でさえ言いません。体型や肌の色、髪型など、仮に褒め言葉だったとしても避けた方がいいですね。アメリカ人は「あなたの今日の服装、とても素敵よ」みたいな社交辞令を、大袈裟に感じるぐらいよく言いますが、それは同性同士での話。異性に対してはあまり口にしないという暗黙のルールみたいなものがあります。それは男性から女性でも、女性から男性でも同じ。ただ、ゲイの人が女性をほめるというのはよくあります。日本社会には、外国人からすると戸惑ってしまいそうな礼儀に関する決まり事がたくさんあるのですが、それはアメリカも同じなのかなと感じます」。

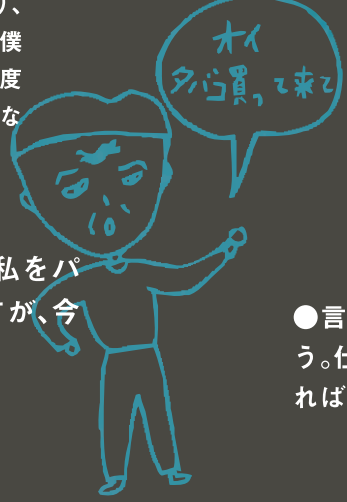
アメリカの大学には「学生はお客様」的なムードが流れていて、学生に対して必要以上にセ



ンシティブになっているのでは、と感じることが多かったという。

「大学の中にはハラスメントに関する相談窓口がしっかりと設置されています。学生たちは何かあると『それはハラスメントだ』と騒ぎかねませんから、教職員も彼らと接する際は、かなり慎重になっています。中には『あの先生が自分に低い評価を与えたのはハラスメントだ』と無茶な訴えをする学生もいて、それでも大学側が守るのは学生。ですから、教員たちも腰が引けているといった状況です。何かしらの配慮が必要な学生が大学に申請し、試験時間の延長や別室受験が認められるケースは以前からありましたが、そうした学生が最近は急増し、教職員が対応に追われているそうです。私の目から見ると、この行き過ぎと思える権利意識が、アメリカの社会を何か間違った方向に向かわせているんじゃないかと思ったりしますし、やがて日本でも同じような状況にならないかと心配もしています」。

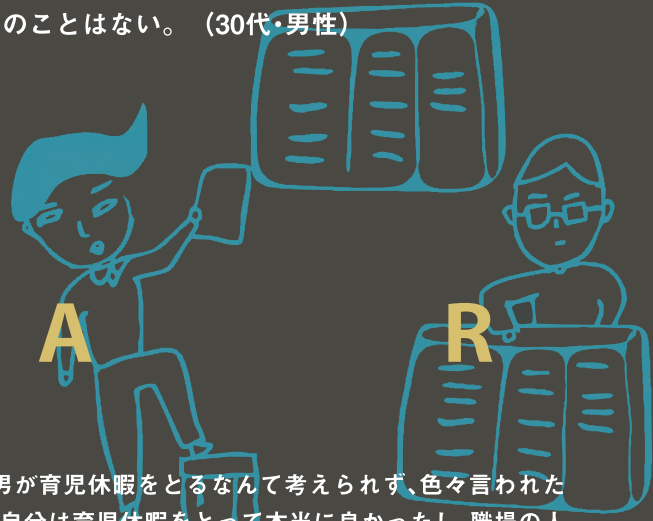
●自分より年上の、シニア社員が部下にいます。オンライン会議のロ
グインでよく戸惑っていて、会議中も「ミュートにしてください」「マ
イクオフですよ」といつも指摘しています。人柄は悪くないんですが、
「わからないこと＝人に聞けばいい」と思っているような様子もあり、
遠回しに、まずは自分で調べてみてはと提案しても伝わりません。僕
の世代的にいうと、「ググれ！」ってやつです。でも、自分の立場で何度
もコレを言うのと、「仕事を教えなかった」とか言われて、バワハラにな
るのかもなって。正直、胃が痛いです。（40代・男性）



●上司がよく「〇〇買ってきて」みたいに、私をパ
シリに使います。自分で行けや！と思いますが、今
は我慢しています（20代・女性）

●女性ですが、「マタハラ」の判断は難しいと思います。退職
させるとか、嫌がらせは論外ですが、中小企業は人員が限ら
れています。本人と企業、どちらも納得できるポジションや
仕事内容って本当に難しい…。（40代・女性）

●50代の先輩社員（女性）に飲みに行こうとよく
誘われて、仕方なく付き合う。仕事の愚痴ばかり
でつまらないし、本当は行きたくないのに断りた
いが、なかなか難しい。念の為にしておくがも
ちろんそれ以上のことはない。（30代・男性）



●昔は男が育児休暇をとるなんて考えられず、色々言われた
らしい。自分は育児休暇をとって本当に良かったし、職場の人
に気持ちよく送り出してもらえました。そういう世の中にな
ってほしいですね。（40代・男性）

●バワハラ気質の上司にあたったときは、保険として日記や
メモなど、記録をつけることを心がけました。むこうが退職
したので、出番はなかったですけどね。（30代・男性）

●函館の中小企業のコンプライアンスはかなり
遅れていると思う。（30代・男性）

●残業代を払いたくないのか、「時短ハラスメント」に
悩んだ時期があります。定時退社を促されますが、とて
も時間内に処理できる業務量ではなく、同僚たちも持
ち帰って仕事していました。（30代・男性）

●日本では「管理職」が曖昧な役割すぎる。役
職名はついているけれど、自分の役割を認識
できてる人は少数派。その結果、「そんなつも
りなかったのに」と言いつつバワハラしたり、
そもそも管理職になりたくなかった人は、加
害者になることに過剰におびえているの
は？（40代・女性）

●ハラスメントしている人は、自覚がない人が大
半な印象です。そういう鈍感な人間だから、ハラス
メント行為をするんでしょうね。（20代・女性）

●退職を申し出てから、今までやったことのないような
雑用を指示されることが増えた。暇って思ってたのかも
しれないけど、引継ぎが結構あったんだけど…。あれはハ
ラスメントだったのかも。（40代・女性）

●言葉遊びとして「ハラスメント」って言いすぎだと思
う。仕事相手として適切な距離を保ち、人として尊重す
ればいいだけの話。（40代・女性）

●「スメルハラスメント」は広めてもらえると実は
嬉しいかも。キツイ香水や整髪料の香りを嗅いで
ると、頭が痛くなるので…。（30代・女性）

●函館は働き先も少なく、仮にハラスメントを受けていたとして
も、声を上げれば当然会社には居づらくなるわけだから、被害を訴
えるのはリスクがあるのが現実だと思う。（30代・女性）

●会社の同僚で、何かあるとすぐ「あれはハラスメントだよ
ね」と私に言ってくる人がいます。適当に相手をしますが、
本当は「どこが？」と思っています。文句ばかり言っていない
で仕事しろって言いたくなります。（40代・女性）

●「昔は許されていたのに（今は厳しすぎる）」って
語る人もいるけれど、それは弱い立場の人たちが
我慢してた、黙殺されてから成り立っていたんだ
と思います。（30代・女性）

●私の知人に「何がハラスメントだ！俺は生涯ハラ
スメントをしていくぞー！」と公言している人がい
ます。主にセクハラ(?)のことを言っていると思
いますが、そこまで潔く堂々といわれると、なんだか認
めてもいいような気になってくるのが不思議です。
幸い、知人とはとってもいい関係性なので、セクハラ
されたら勝手にポイント化し、ある程度たったな
と思ったら焼肉屋さんに連行。たらふくお肉を食べ
てポイント消化しています。（40代・女性）

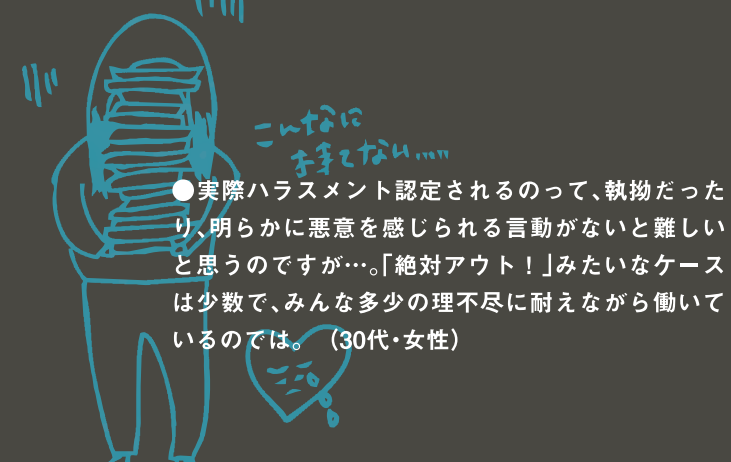
●もう昔の話ですが、「帰国子女だからね」という
先輩や同僚の発言に傷ついていました。馴染めて
ない自分に優しさで言ってくれた人もいると思
います。だけど、その言葉で全部済まされてしま
うのが悲しかったです。（30代・女性）

●先日たまたま開いた「職場のお局様に嫌われない方法」という
ショート動画、1番が「男性社員と話さない」でした。すぐに見るの
をやめました。無理だし、めんどくさすぎる。（20代・女性）

●セクハラはもちろん論外ですが、仕事を通じて出
会う人間を「男」や「女」など、異性として見る
こと事態が理解できない…。これって自分が堅物
すぎるの？（30代・女性）

●以前は、週1ぐらいのペースで同僚たちと飲みにい
ったが、新入社員を誘っても断られることが多くて、その
あたりからほとんど行かなくなった。（40代・男性）

●職場の飲み会に行かない。酒が入ると、人は失言
するものだ。ハラスメントを含め、これで職場のト
ラブル8割は回避できる。（30代・男性）



●実際ハラスメント認定されるのって、執拗だった
り、明らかに悪意を感じられる言動がないと難しい
と思うのですが…。『絶対アウト！』みたいなケース
は少数で、みんな多少の理不尽に耐えながら働いて
いるのでは。（30代・女性）

●退職を申し出たら、社長の態度が変わりました。同僚
の前で、理不尽な罵倒を受けたりもしましたが、転職先
が決まっていたので、やり過ごしました。その会社は、
数年後には倒産してました。（30代・女性）

●業界的に男性比率が高く、女性が非常に少ない
会社の新卒で入りました。セクハラとかはまった
くなくて、皆さん優しくて。でも必要以上に気を使
われている感じでした。先輩社員と冗談を言い合
う同期の男の子が正直うらやましかったです。
（20代・女性）

●ウチの会社の70代の社長は、女性社員を
飲み屋のホステスみたいに扱う場面があり
ますが、高齢なのである程度は目に見て
います。（40代・女性）

●私の仕事は建築関係ですが、現場で指示をす
る時にかなり強い口調になることもあります。
でもそれは現場に緊張感を持たせるためで、安
全に仕事をするためには必要な場合もありま
す。それをバワハラだと受け取る人間は私の周
りにはいません。（40代・男性）

●最近、社長が「若者が未来をつくる！」と若手社員を過剰に持ち
上げる言動をします。真に受けたのか、同じ年の同僚が「俺たちオ
ヤジは老害にならないように気をつけな」と語り出して、
気持ち悪かった。「ハラスメント」とは違うかもしれないけど、二人
とも単純すぎないか？（50代・男性）



ハラスメントという
言葉の意味さえ
知らなかった頃の
ハラスメント。
T・K 50代・女性

高 校を卒業して、初めて就職したのは建築関係の会社でした。
1990年代前半のちょうどバブルが弾けたあたりのことで
す。仕事は一般事務、ということでしたが、当時、その会社にはまだ
パソコンが一台しかなくて、事務仕事はかなり手作業で行ってい
ました。女性社員は私の他にもう1人、2歳年上のRさんという方でし
た。毎朝、他の社員よりも早く出社し、Rさんと2人で10坪ほどの広
さの事務所と奥にある社長室、それにトイレと給湯室の掃除をし、
お客さんが来るとお茶を出すのも私たちの仕事でした。備品の買い
出しも私たちの役目です。飲み会にもよく付き合わされましたが、
遅くまで飲んでも、翌日の朝はいつものように2人で早く出社し、
掃除から1日が始まります。掃除とお茶汲みは女の仕事というのが
当たり前になっていて、当時は私も不満に感じていませんでしたし、
休日に高校時代の友人と会って話をしても、彼女たちも似たよう
な感じてした。

いつもは不在ですが、ときどき社長がやって来て社長室の椅子に
でんと腰掛けます。急いでお茶を淹れて持っていくと、「〇〇ちゃん、
頑張ってる？」と言いながら、茶碗を置く私のお尻をスッと撫でたり
します。「やめてください、社長！」と怒りますが、社長は「ハハハ」と
笑ってそれで終わり。もちろんイヤでしたが、それが何か大きな問題
になるといったこともなく、職場の日常の一コマといった感じです。
高校を卒業してから、他の会社を知らない私は、社会に出るとこん
なこともあるのかなぐらいに思っていました。今思うと信じられない
話ですよ。でも、Rさんは綺麗な人だったのに、私のような目には
あっていなかったようなので、きっと私はスキだらけで許してくれ
ると社長はなめていたのかもしれない。確かにRさんはキリッとし
ていて、そういうことがあると思いきり怒りそうな人でした。その
会社は給料もそれほど高くなく、あれこれ思い出すと今更ながら腹
が立ちます。今の私だったら、労基に訴えるなんて野暮なことはせ
ず、指名料と特別サービス料を請求していたかもしれません（冗
談）。でも、それも30年前の話、当時の社長はとうの昔にあの世に旅
立たれたので、どうしようもありませんね。

もう一つ、どうしても嫌だったのが社員旅行の宴会でのカラオケ
タイムです。浴衣姿で男性社員たちのデュエットの相手をさせられ
るのですが、中には酔って肩を抱いてくる父親ぐらいの歳のオジサ
ンもいて、しんどかったのを覚えています。

その会社を3年後に辞め、詳しく言えませんが、もう少しきちんと
していそうな職場に転職しましたが、やはりそこでもセクハラ的な
ことはありました。ただ、その頃にはある程度世間に揉まれ、ヒョッ
コではなかったのも、うまくかわす術も身につけていました。もしも
それが通じない相手には、露骨にイヤな顔をして睨みつけるという
必殺技を繰り出します。ただ厄介なのがバワハラ気質の上司（当時
50代の男性）で、歯向かうとどんな仕返しをされるかわからないし、
当時は相談窓口みたいなものもなく、かなり気を使いました。

そしてその後、2度の転職をし、今もその会社に在籍しています。
40代中頃には役職にも就き、現在、数名の部下もいます。そして人
の上に立つことの苦勞をいやというほど味わっています。職種も時代
も違いますし、あの建設会社の頃のような社員はいませんが、それ
でも皆違った意味で個性が強く、まとめるのは大変です。面接で「この
人なら」と思って採用した人が、いざ働いてみると長続きせず、すぐ
に辞めてしまうといったことも何度か経験しました。中には「私の仕
事の覚えが悪いのは指導方法に問題があるからで、私の責任では
ない」と堂々と主張する人もいました。ハラスメント対策のためのコン
プライアンスはもちろんですが、そんなモンスター社員が現れた時
に備え、会社側も細かなマニュアルを作成し始めました。お尻を触ら
れてふくれていた時代とは隔世の感がありますね。ただ、決してあっ
てはならないことですが、あの時の経験は私をかなり遅くしてく
れたことは事実です。



PROFILE

札幌市生まれ、小学生の頃、父親の転勤で函館に移
住。市内の高校を卒業し建設会社に就職。その後、
結婚、出産、2度の転職を経て、東京に本社のある
企業に入社。現在函館支店のチームリーダー。

同じ時間を心地よく共有するための、ちよつとした声かけ。

函館市内杉並町で飲食店を営む上村春奈さんは、大学医学部を卒業して医局に入り、札幌で2年間勤務後、函館の病院に赴任していたが、思うところあって退職。そのまま縁もゆかりもない函館の街で暮らすことを決め、介護職を数年経験した後、飲食店を開業したという経歴を持つ。「せっかく医者になったのに辞めるなんて」という周囲の声もあった。しかし、日々の仕事に忙殺される中、自分が思い描いていた「医者の方との距離はなかなか埋まらず、思い悩んだ上の決断だった。「当時はかなり追い詰められていたんだと思います。全うできなかった悔しさは残りますが、でも今はこの仕事が楽しいし、後悔もしていません。」

今回、なぜ上村さんにハラスメントの話を行うことになったのか。それは上村さんがある男性の常連客のハラスメント的な言動を目にし、意見するといった場面があったと、男性本人から聞いたからだ。彼は「指摘を受けてから、それまでの自分の行動を見つめ直す機会になった」と語った。

上村さんは、その男性に限らず、気になることがあると同じように声かけをするという。ただ、食事も提供するお酒を飲みに来て来るお客も多い上村さんの店。お客に煙たがられないかと心配になる。



PROFILE

愛知県名古屋生まれ。高校卒業後、北海道の大学に進学。医師として3年間勤務した後、退職。介護職を経て2010年、飲食店を開業。休日はバンド活動もしている。

haru-na-tei
函館市杉並町 20-41 090-1388-3353

そして、どんな方なのかと少し緊張しながら取材に伺うと、拍子抜けするほど人懐っこい笑顔で迎えてくれた。「彼の話をもそのまま受け取ると、気難しくて恐い人だと思われちゃいますよね(笑)。でも、そういう話をする時は、ユーモアに包んで、できればみんなで笑って、確かにそうかもあって受け取ってもらえたら最高。難しいですけどそれを目指しています。店をやっていると様々な場面を目にしますが、私のささやかな提案が少しでもその方のプラスになればと思ってのこと。それは男性に限らず、女性のお客さんに対しても同じです。」

例えば、上村さんが気になるのはどういったことなのか。「上司と部下、取引先かどうか、年上か年下か、同性か異性か。様々な要素が複雑に絡み合いますが、その中で『気を遣う側、遣われる側』のバランスがお互いにほどほどなら特に問題は起きません。でも、これがどちらかに強く偏ることが実はよくあって、いわゆる『権力勾配』ってこれのことだと思います。もしも、『そういう関係なく楽しみたいんだもん！』と権力のある側が思うのであれば、『気を遣って笑ってくれているのかも』と心のどこかに置いておけば、くどい自慢話やしつこめな誘いなどの歯止めになるかとも思います。」

上村さんの店は女性の常連客も多い。男性女性問わず同じ時間を心地よく共有して欲しいし、そのためには互いを尊重するという気持ちは何より大切だと思う。でも、中には目余る言動をするお客に、説明しても受け入れてもらえず、それ以降の来店を断ったこともあった。「こんなちっちゃな店の片隅で、私が何か発言してもすぐ世の中が変わるわけではないですけど、それでも、頑張って少しづつ種を蒔き、100蒔いた種のうち、ひとつでもふたつでも芽が出たらうれしいくらいの気持ちでやっています。おかげさまでうちの店は、分かり合えるお客さんが多くて感謝しています。」

疑問に感じることもある、若い世代の就業意識。澤口ありさ

2024年からHIFのスタッフとして勤務する澤口ありささんは、函館にやってくる前、東京都内のIT関連の企業に勤務していた。「新型コロナの感染拡大を契機に、IT業界はどの会社も在宅勤務が進みました。私が在籍していた会社も同じようにほぼ在宅勤務となったので、オフィスに出社する機会はありませんでした。ですからオフィスの中で、直接対面で起こるようなバワハラとかセクハラみたいなものはあまり経験していません。それに、私が勤めていた会社はコンプライアンスもかなりしっかりしていたように思います。」

そう語る澤口さんだが、一度だけ嫌な思いをしたことがある。「ミーティングはすべてオンラインで行っていたのですが、私があるプロジェクトに参加することになり、初めてのミーティングに参加した時のことです。メンバーは3人で、みんな同じぐらいの年齢でした。私は少し遅れて参加したのですが、他の2人はすでに会話をしていて、とても陰湿なムードだったんです。1人はリーダーの立場の男性で、もう1人の女性メンバーを叱責している状況でした。それともかなり強い口調だったのですが、私は最初わけわからず黙って聞いているしかなかったんですが、



PROFILE

岩手県盛岡市生まれ。神奈川県の大学を卒業後、IT関連の会社に就職。パートナーの転勤を機に、函館へ移住。2024年春よりHIFのスタッフに。

少しづつ事情が見えてくると確かに責められている女性にも責任があることは理解できたんですが、リーダーの言い方は明らかにバワハラだと思いました。男性が大きな声をあげればやはり女性は怖くて萎縮してしまいます。注意する場合こそ冷静になってほしいなと思いました。しかも他の人たちが見ていないオンラインという、ある意味閉鎖された場ですからね。」

澤口さんが在職中に経験したハラスメントと考えるものは、この一度きりだったというが、大学時代の友人で、かなりひどいハラスメントを経験している人もいます。

「不動産業界に就職した友人なんですけど、彼の会社はバワハラのはひい会社だと聞きました。上司から怒鳴られるのは日常茶飯事で、ノルマを達成できないとおおぜいの前に立たされ、反省の言葉を言わされたりとめっちゃらしいです。まるで大昔のドラマに出てきそうな…。今時まだそんな会社があるんですね。」

現在20代後半の澤口さん。彼女の友人たちの中には精神疾患を理由に会社を休職中の人も多いという。「直接の友人にもいますが、彼ら彼女らの知り合いを辿っても、20代から30代前半の年齢の人に、退職したり、休職したりという人が驚くほどいます。ただ、事情を聞いていると違和感を抱く場合もあります。友人の中には、病院へ行って『眠れない。食欲がない』と体調不良を訴え、うつ病の診断書をもらい、『私、今休職中なの』と言う人もいます。それなのに休日に友人たちで集まったりすると、普通に元気にはしゃいでいたりするのはどうなのかなって…。世の中には、本当に苦しんでいる人もたくさんいるはずなのに、なんとなく安易に考えているように思います。もちろんストレスの許容範囲は人それぞれですし、軽々しくは言えませんが、明らかに心療内科へ行って診断してもらおうことのハードルがかなり低くなってきているような気がしますね。」

20年前とは大きく変わった労使関係。谷口拓也

「近年、ハラスメントを取り巻く社会の状況は大きく変わってきたと感じます。」

そう語るのは社会保険労務士の谷口拓也さん。社会保険労務士とは労働社会保険に関する手続業務などの他、良好な労使関係を維持するためにそれぞれの職場にあった労務管理の相談指導業務を行う国家資格者だ。そんな谷口さんのもとは、ハラスメントについての相談も舞い込むし、これまで企業や業界団体が主催する勉強会に講師として招かれ、ハラスメント問題への対応をテーマに講演なども多数行ってきた。

「私が社会保険労務士になったのは2004年ですから約20年前のことです。当時のことを思い返すと、あまり好ましくはないのですが、労使関係の問題はどこかあなあなところもあったと思います。でも今は、ハラスメントに関する法律も整備され、会社側の対応がしっかりと義務付けられました。最近ではネット上には情報が溢れていて誰もが知識を得られまし、加えてTVや新聞では連日のようにハラスメントのニュースが報道される。当然経営者側も労働者側もどんどん意識が高まっています。」

そして谷口さんは、景気の動向も労使関係に大きく影響を与えていると指摘する。



PROFILE

東京都江山市生まれ。大学卒業後、北陸銀行に入行し、五稜郭支店に赴任。その後、市内の税理士事務所に転職。2004年に社会保険労務士として独立。

社会保険労務士法人 谷口事務所
函館市柏木町 37-6 0138-52-7565

「今、日本は人手不足で売り手市場です。会社側は待遇面などにしっかりと気を使わないと従業員は辞めていってしまうし、募集してもなかなか人は集まらない。それでますます会社側は労働環境に気を遣わざるをえない。特にハラスメントの問題について言えば、私が社会人になった1990年代と比較すると、意識の改善は大きく進んでいます。それは確実に良いことです。ただし、逆に会社側が必要以上に萎縮しているようにも見えて、それは決して健全な姿だとは思えません。私が最近感じるのは、ハラスメントも含め、労使関係の問題について、特に若い層の労働者の中にかなり無理な主張をする人が増えていることです。明らかに権利のはき違えだと思う事例や、制度的にはセーフでも社会倫理的にどうなんだろうかといった事例も数多く耳にするようになりました。例えば、育児休業というのは職場に復帰するというのが前提で給付金も支給されます。それなのに、当初から復帰する気はなく、期間終了と同時に何か理由をつけて退職したり、復帰してもすぐに退職してしまうといったケースも見受けられます。もちろん育児休業は当然の権利ですが、その制度を悪用している人がいるとすれば、それは問題です。」

ハラスメントについても、あきらかに問題であり、相応の対応を取らなければいけないものもあったが、中には氾濫する情報を自分の都合のいいように曲解し、無理な主張をするケースもあったと言う。

「労使関係、特にハラスメントの問題は、今がちょうど過渡期なんじゃないかと私は思っています。加害者側も被害者側も、そして会社も、まだまだ手探りで学んでいる状況なのかなと。ただ、ダメなものはダメとみんなが理解し進んでいるのは確かでしょうから、やがて社会に定着していくんじゃないかと思いますが、それにはもう少し時間がかかるかもしれないね。」

今回、このハラスメントの問題をどうまとめてページにするか、ゴールの見えないまま始めたが、やっぱり、ハラスメントの話は難しい。これを読んでいる方の中には、これまでの自分の行動に心当たりがあったり、また、目撃しながらそれをあまり問題だと認識せず、見過ごしていた人もいるはずだ。もしかすると、今まさに被害にあっているという方もいらっしゃるかも知れない。ハラスメントは、いつ自分が加害者になっても被害者になってもおかしくない。

そういう自分も、過去に代表を務めていた職場で社員に対し声を荒げることが度々あった。今思えばバワハラだと言われても仕方がない。主張に間違いはなかったとしても、自分の未熟さゆえ、伝え方は間違っていたかも知れない。さすがに女性社員のお尻は触らなかつたが、来客の際コーヒーを淹れるのも、オフィスに飾る花を用意するのも、男性社員よりも女性の場合が多かったが、それが彼女たちの負担になっているかもとは考えなかつた。

また、友人たちと、自分たちが若い頃に目にしたセクハラまがいの数々の出来事を思い返して話題にする時、「あの頃はひどかったなあ」と言いながらも、どこか懐かしも雰囲気がある。一度刷り込まれた意識はなかなか抜けない。そのくせ「昭和世代はどうしようもない」などと言われると、「それは昭和ハラスメントだ!」と心の中で叫んで、被害者のふりをしてみたりする。

30代半ばのある知人女性が、職場の同僚との会話の中で、相手が既婚か未婚か、恋人の有無、住まいはどこか、趣味は何かなどといった質問は、たとえ相手が同性であってもなるべく避けていると聞いて驚いた。特に自分より年下の20代から30代前半の社員には気を遣っているとのこと。もちろん個人差はあるし、勝手な思い込みかも知れないが、その年代は「プライベートな質問はなるべくしないで」といった空気を纏っているように感じると彼女は言う。では、職場の中で人間関係を構築する際、何を糸口にするればいいのだろうかと思ってしまう。百歩譲って、異性の社員に「結婚してるの?」は避けたとしても、たとえば同性の男性社員に「おまえ嫁さんいるの?」と訊くぐらいは許してもらわないと会話が続かない。「昨日大谷ホームラン打ったねえ」と話しかけて、もし相手が野球に興味がなかったなら、「大谷ハラスメント!」になりかねないし、事前に最低限の情報は知っておきたい。

おかハラ(お菓子ハラスメント)というハラスメントがあるらしい。「職場でお菓子やお土産を配る時、特定の人だけわざとスルーすること」とのこと。実際に被害にあっている人がいるのだから軽々しくは言えないが、こんな幼稚なことをする大人が本当にいるのかと笑ってしまう。女性が多い職場では結構あるらしいが、そういった嫌がらせを受ける苦しみよりも、そういったくだらない嫌がらせに巻き込まれるバカバカしさに苦しみそうだ。

誰かを見下して優越感に浸ったり、恫喝や嫌がらせをしてストレスを発散させたり、自分の欲を満たすために立場を利用したり…。この先、そういう人間がいなくなることはないだろう。だからルールが必要だ。ただ、そのルールに振り回されて、社会が本来の目的とは違った方向に行くのはまずい。

とにかく、自分の言動を相手はどう感じるかといった想像力を持ち続けることと、自分の無知、無自覚を省みることを忘れないよう、続けていくしかないだろう。

最後に、今回の原稿の中で、被害者の方への配慮の足りなさがあるかも知れないので、そう受け取られた方にはお詫びしたい。



●ハラスメントに関する主な相談窓口

【みんなの人権110番】(全国共通人権相談ダイヤル)
0570-003-110
平日 8:30~17:15
【労働相談ホットライン】
0120-81-6105(フリーダイヤル)
平日17:00~20:00 土曜日13:00~16:00 ※日曜・祝日を除く。
【函館総合労働相談コーナー】(函館労働基準監督署内)
0138-87-7600
9:00~16:30 ※土日祝日や年末年始を除く。
【労働条件相談はっとライン】
0120-811-610(フリーダイヤル)
平日(月~金)17:00~22:00、土日・祝日9:00~21:00
※厚生労働省委託事業。専門知識を持つ相談員が対応
【女性相談室】(函館市配偶者暴力相談支援センター)
0138-21-3010 8:45~17:30 ※土日祝日や年末年始を除く。
【北海道労働者福祉協議会道南ブロック 連合渡島・連合函館】
0120-154-052 9:00~17:00 ※土日祝日や年末年始を除く。
【法テラス函館法律事務所】
0570-078390 9:00~17:00 ※土日祝日や年末年始を除く。
※電話相談をご希望の方は電話でご予約ください。

●ハラスメントについて知するための本



ハラスメントがおきない職場のつくり方
中川 瑛／著

加害者を排除するのではなく組織全体の「ケア」が大切。職場からハラスメントをなくしたい、もう人が辞めない職場を作りたいという人必読の書。(大和書房)



「ハラスメント」の解剖図鑑
宮本剛志／著

全48種のハラスメントについて、「アウト」「セーフ」の境界線と、その根拠をあげ、ハラスメントのない職場を作るための対応策を徹底解説。(誠文堂新光社)



マンガまるわかりハラスメント
野原春子／監修 サイドランチ／漫画

わかりきったものだけでなく、微妙なラインの事例にも触れながら、「ハラスメントゼロの職場にするため、会社が社員が、何をすべきか」を、マンガとともに解説。(新星出版社)



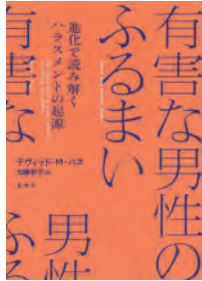
ハラスメントとメンタルヘルス対策
古見明子／著

「ハラスメント対策の3つの義務」とは? 経営者、行為者にどんな責任がある? 「知らなかつた」では済まない知識を豊富な図とともに解説する一冊。(同文館出版)



上司いじめ
企業法務弁護士が教える上司のためのハラスメント対応法
國安耕太／著

「企業(組織)に属する個人」が、法的に正しい方法で、効果的に相手や所属する組織に対してアプローチする術を、企業法務を専門とする弁護士が幅広い観点から解説。(あさ出版)



有害な男性のふるまい
進化で読み解くハラスメントの起源
デヴィッド・M・パス／著 加藤智子／訳

進化生物学の観点から男女の性的対立・ハラスメントの根源を明らかにし、社会科学や家父長制の研究の上に新たな知見を加えて、男女の調和の道を探る。(草思社)



生皮
あるセクシャルハラスメントの光景
井上荒野／著

小説講座の人気講師が性暴力で告発された。なぜセクハラは起きたのか? 当事者の生々しい感情と、ハラスメントが生まれる空気を重層的に活写する。(朝日新聞出版)



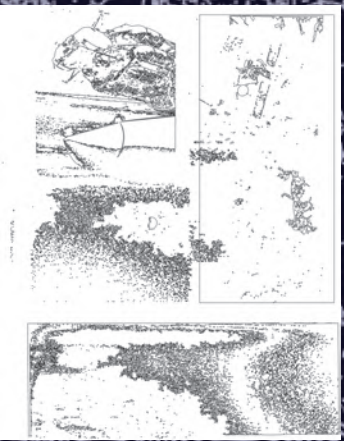
パワハラグレーゾーン
山浦美紀／著

パワハラか否か…誤認しがちな行為を6つの類型に分類し、多数の裁判例やパワハラ指針、パワハラ運用通達等を参考に、判断のポイントをわかりやすく解説。(新日本法規出版)

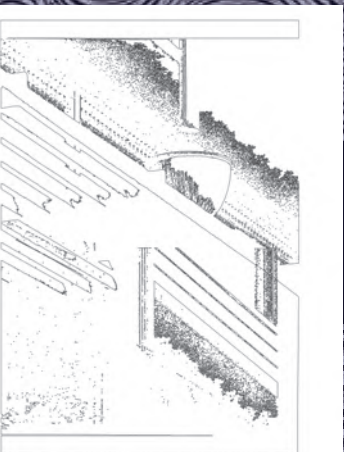
ムラカミコウスケの アートワーク。



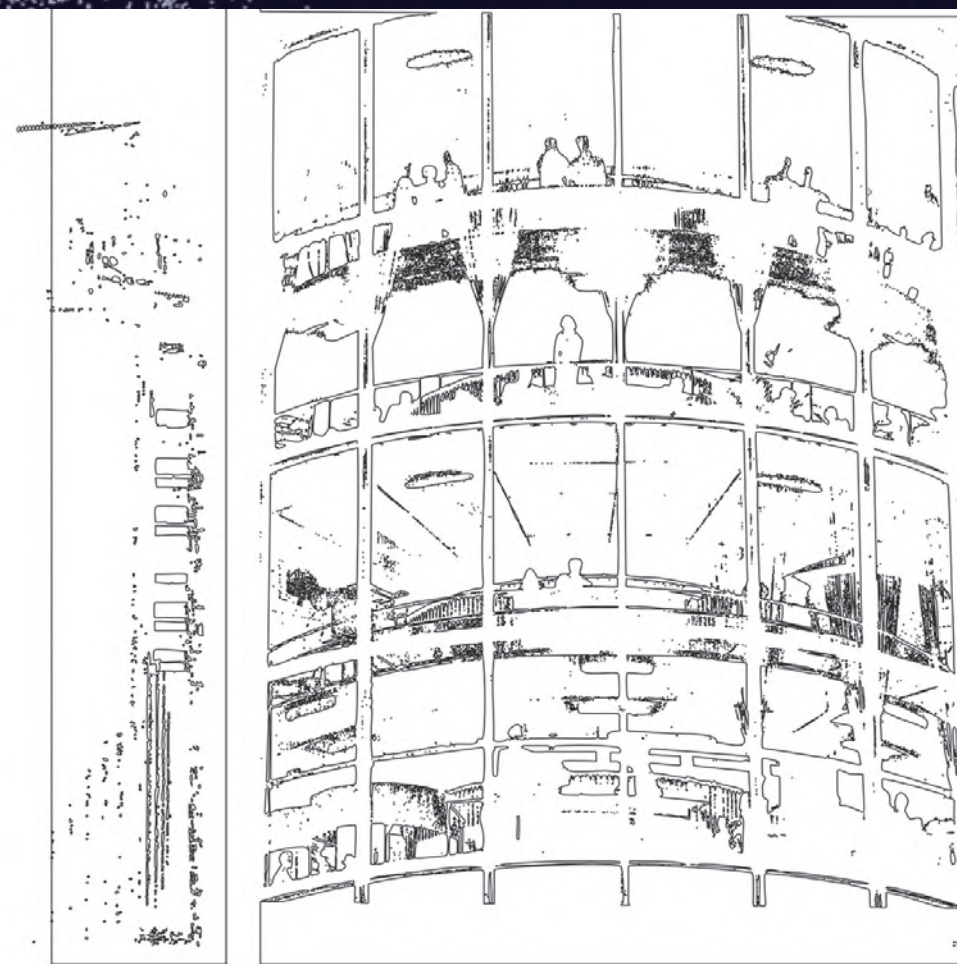
落水荘



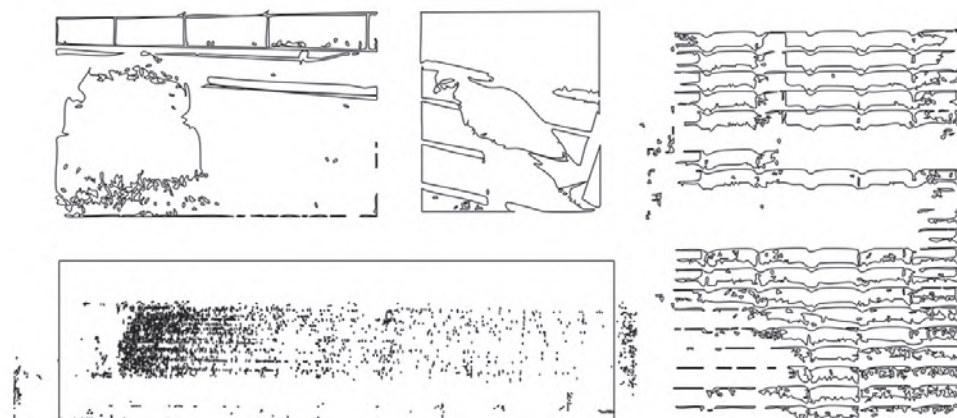
flow black



side



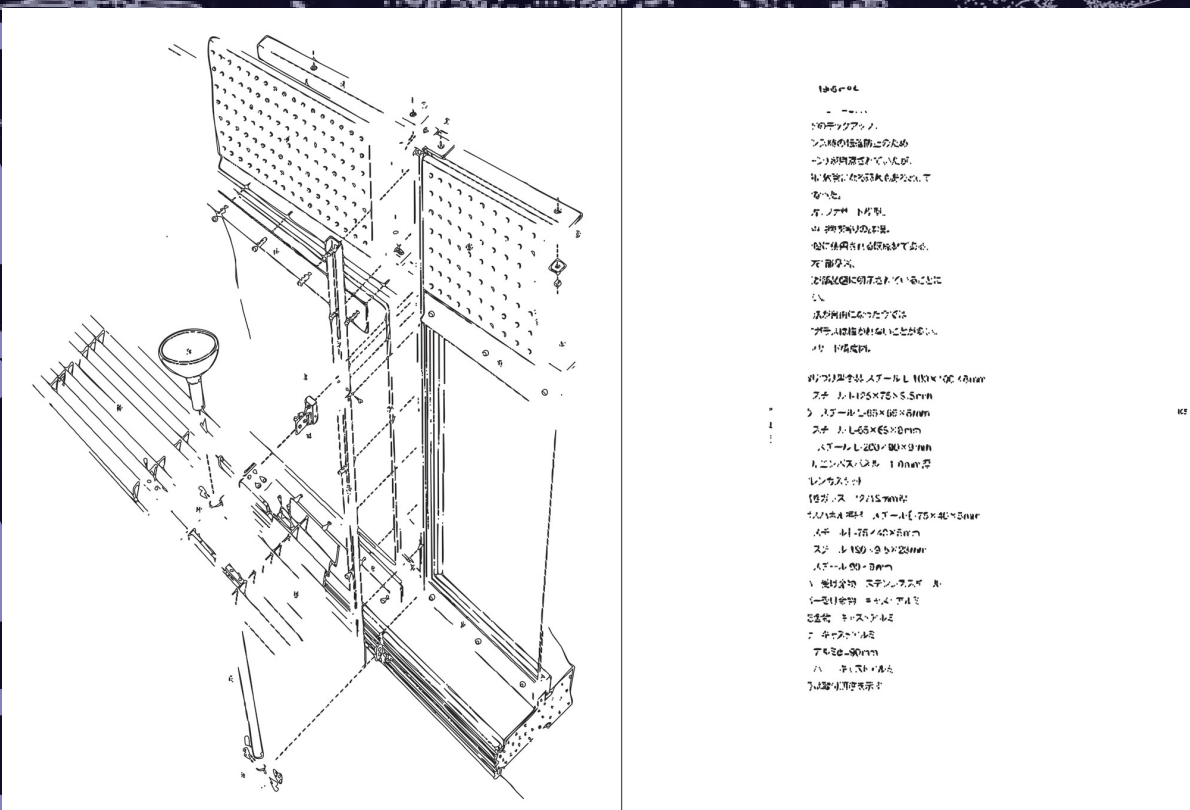
dali black



dreamcenter



GENBA



自分がその時に表現したいテーマに合わせ、ドローイングやコラージュ、写真、インスタレーションなど、様々な手法で創作活動続けるムラカミさん。このページで紹介する作品は、例えばインスピレーションを受けた写真などをスキャンしてPCに取り込み、線と点を抽出、それを分解して再構築し、自分の線を書き加えていくといった工程を経て出来上がったものという。

幼い頃から絵を描くことが好きだったというムラカミさんは、市内の短大を卒業し、社会人となってからもずっと創作活動を続け、自身のInstagramなどで発信してきた。それが目にとまり「個展をやらないか」という最初の誘いを受けたのが2021年のこと。そこから本格的に創作にのめり込むようになった。写真はフィルムカメラにこだわり、自宅に暗室も作るといった力の入れようだ。

このページで作品の魅力を伝え切るにはあまりにもスペースが足りない。舟見町のtsu@the table galleryで5月2日から始まる個展「写線」で直に作品をご覧ください。

PROFILE

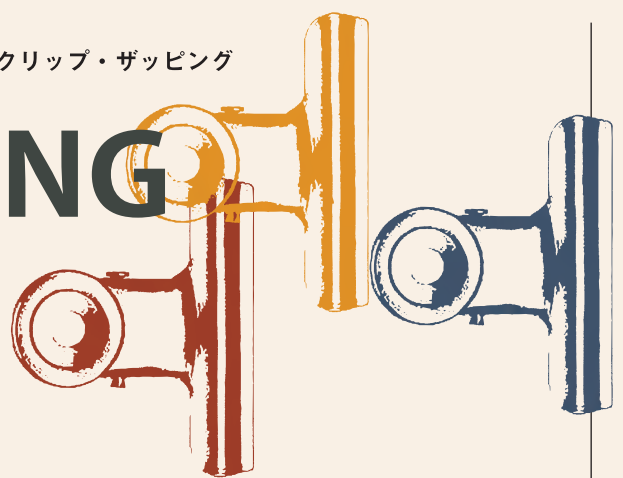
知内町生まれ。2021年の函館市内での個展をきっかけに本格的に創作活動をスタートする。2023/24年と続けてきた札幌市内のカフェギャラリーでの個展は、今年も開催が決まっている。

※5月2日から開催される個展の詳細は、19ページを
Instagram : kosuke_murakami



CLIP ZAPPING

May - June
2025



桜と函館。



多い。釣りで訪れた川汲公園、遠出した森の青葉ヶ丘公園、桜の木の下で、丁前にポーズをとっている。幼くて記憶にないものも多いが、こうして写真を見ることで記録に残してくれたことを知る。お日様の下での桜が、いつしか記憶も記録も桜が増えた。千鳥ヶ淵の幻想的なライトアップは昼間とは違った魅力を見せてくれたし、終電を逃した仕事帰

りに、車から見た外苑の花あかりに癒された。そんな中、昨年偶然に早期の桜を愛でる機会があった。数時間後は人で溢れかえるだろう場所を鳥の声に包まれながら歩き見る桜と、その取り巻く空気の清々しさには新たな感動すら覚えた。函館にとって、桜は春の風物詩であると共に、観光地を形づくる一要素にもなっている。五稜郭公園の春は、約1500本のソメイヨシノが星の城郭を彩り、多くの市民、観光客を魅了する。開花から満開を経て、花びらが散り、堀の水面に浮かぶ花筏までわずか十日あまりのことだが、短いからこそ特別なものを感じる。

明治12年に開園した函館公園には約400本植えられており、中には樹齢100年を超えるものもある。お花見シーズンには屋台が連なり、肉が焼ける匂いや甘い匂いに誘われ、多くの人とすれ違う「ごもく」では子どもたちの喜びが顔が溢れこちまも、頬を緩む。ポカポカした陽気と普段とは違う賑やかな光景に春がきたを実感する。他にも、寺社や学校、川沿いなど桜の名所は市内にいくつもある。

明治や大正時代、当時の函館の企業や篤志家が植

サ
クラ(フクセントはサニ)。
幼い頃に飼いだめたアイヌ犬の名前である。白毛で、重まった、仔犬の時はコロコロと愛らしく、成犬になる頃にはしっかりした番犬になった。ひとりっ子の自分にとって妹分になったワンコに大好きな花の名前を付けた。

新連載「函館街づくり研究室」
函館市議会議員

函館市は、令和3年度の3年にわたって五稜郭公園、函館公園、見晴公園の桜の延命化を目的とした予算サクラ環境対策費を執行した。初年度は3公園全ての桜について樹木医が初期診断を行い、個別カルテを作成。次年度は、初期診断の結果をふまえて桜の活力を上げるための施肥(せひ)を行った他、樹木内部の腐朽度を調査する精密診断さらにキノコ類の除去や害虫駆除、防除といった環境を整備した。最終年度は施肥、精密診断、環境整備を継続した他、ガチガチに固まった土が柔らかく、カフカになるよう土壌改良を行った。3年間合計すると約900万円投下された。

桜を延命するための具体的な対策は施肥、肥料を与えることだ。枝いっばいに花を咲かせる桜には毎年多くの養分が必要になる。3公園の桜は樹齢が高く、根や枝が伸びきっているのが光合成だけでは養分の補給が追い切れない状態になっているという。

先日ふと手に取った『世界の日本人ジョーク集 令和編(早坂隆著、中公新書ラクレ)』という本。読んでみると、各国におけるマスク政策についてのジョークが紹介されていました。国民にマスク着用を求める際、何と伝えるか。アメリカ「マスクをすればあなたは英雄です」、ドイツ「マスクをするのがルールです」、イタリア「マスクをすると異性にモテます」、日本「みんなマスクしていますよ」。元ネタは、タイタニックが沈みかけた時に救命ボートの数が足りず、女性や子供を優先するために何と云うかという有名な話のようです。国民性を簡潔に表現しているこのジョーク／小話。知っておいて損はないかもしれません。

PROFILE
旭川出身。ICU卒業。ウィスコンシン大学マディソン校東アジア語学・文学学科修士課程修了。日本語アシスタント、南カリフォルニア大学日本語専任講師を経て2013年9月から現職。



元新聞記者・中川大介の【在南北思一南に在りて北を思う】 (避難所運営ゲーム)

以前この欄で紹介したイスラエルの歴史学者ユヴァル・ノア・ハラリ氏が3月、来日してテレビ朝日のロングインタビューに応じた。約1時間、やさしい英語で深いことを語っている。ぜひYouTubeでご覧いただきたいが、「人間を装うAI(人工知能)」の危険性を指摘して、人間の「共感する力」「人を信じ、協力できる力」の大切さを説いている▼人間とはいかなる存在か。知識を果てしなく集積し、総合して、要約することのできるAIとの違いとは。それは生き物としての「感情」であるとハラリ氏は言う▼事件事故や災害で苦境にある人びとの痛みを思う心。助けたい、力になりたいと願う心。困難に直面して他者と助け合う力。それこそAIにはない人間の力(今のところ、かもしれないが)なのだ▼だが自らも厳しい状況に置かれたときに、どこまで他者を思いやることができるだろう。それを考えるのに格好の場がある。『避難所運営ゲーム北海道版』(愛称Doはぐ)である▼私はこれまで3回、北海道防災士会道南ブロックの一員としてこのゲームの研修に参加した。厳冬期に大地震が起きて、学校が避難所となった。何人かでチームを組み、その運営を担うという想定だ。校舎や体育館の平面図に受付や本部などの配置を書き入れて、カードで次々提示される避難者や配給物資、情報や取材の依頼への対応を決める▼親を亡くした子ども、感染症患者、授乳中の母子、車中避難の希望者、ペット同伴の一人。冷え切った校舎や体育館のどこに配置してどうケアするか。乏しい物資をどう分かち合うか。判断時間は1件につき約1分。あっという間に時間が過ぎる。「人生経験の豊かな人ほど判断に時間がかかる」と聞かされた▼思いやりと、目の前の厳しい現実を折り合わせるのは容易ではない。年齢も性別も出身地も職業経験も異なるチームのメンバーと協力しながら、一つひとつ判断していくよりない▼災害について考えることは、人間とは何かという問いでもあるようだ。『Doはぐ』は渡島総合振興局でキットの貸し出しや講師の紹介をしている。地域で、職場で、学校で、取り組んでみる価値はある。



PROFILE

岩手県生まれ。新聞記者歴30年。2022年退職し、函館で「編集工房かせま舎」を主宰。著書に「環の中に生きる(かせま舎)」「水辺の小さな自然再生 人と自然の環(わ)を取り戻す」(農文協)。趣味は合気道、猫といること。

ビブリオフィルの

The Endless Adventures of a Bibliophile

果てなき冒険。

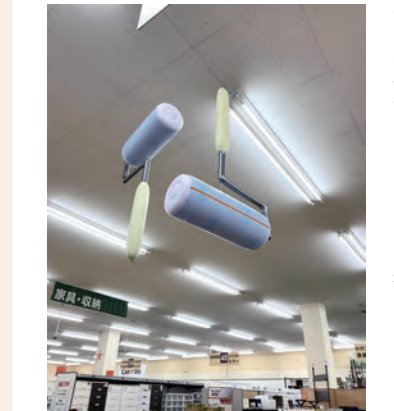
夏井俊介／夏井珈琲・店主



PROFILE

群馬県生まれ函館育ち。家業の飲食店経営の傍ら、趣味が高じて国内外のコレクターやアーティストたちから依頼された書籍の搜索や提案といった仕事とともに、日々「本」に関する情報を発信している。

函館でもだいたいが普及したタクシーアプリ、便利で使っているのですが乗ったあとに「評価してください」という通知がきます。私はそれを無視してしまいがきつとその評価制度のせいでしょうか、いやきつとそのせいなんです。軒並み、タクシーの連ちゃんたちが牙を抜かれ近頃異様なまでに丁寧なんです。この道フン十年 これまで絶対にそんな言葉を使わなかったであろう、と思われる風貌と声質の人が「お忘れものはございませんか? どうぞお気を付けていってらっしゃいませ!」などと明らかに慣れない声色で言うものですが、なんだかとてもつまらない気持ちになります。わかりますけどね コンプライアンスね。



今年、函館マラソンのハーフに出場します。写真はホームセンターで見かけた大きなコロコロ、とても良く出来ていました。

PROFILE

函館生まれ。食べることと同様に太らないことにも真摯で、ダイエッターとしての闘いも長い。Twitter／hi_ra_no_45

TABATA的「音楽の処方箋」――田畑裕桓



近年、研究者やコレクターの間で"エフェメラ"というジャンルの印刷物が注目されています。エフェメラとは、1日しか存在しない儚いものを意味するギリシヤ語が起源となった言葉で、古物の世界では、書籍のように長期間保存する目的では無い、短命な印刷物のことを指します。切手やマッチラベルなどはコレクションの対象として長く愛されてきましたが、近年ではチラシやパンフレットのように、特定のイベントのために印刷されたものを集めるコレクターが増えています。日本ではまだエフェメラ専門店は少ないですが、欧米ではすでに確立された1ジャンルとなっていて、ある文化活動のイベントが行われた正確な日程や参加者を特定するための歴史的資料としても重宝されています。

今回ご紹介するエフェメラも、1960年10

月21,22日にVIDEOHALLなる会場で開催されたモダンジャズの実験映像上映会のパンフレット。寺山修司による企画で、細江英公と土方巽、谷川俊太郎と武満徹、石原慎太郎、今井寿恵など、錚々たる顔ぶれの実験映像が上映されたようです。全6プログラムの内、細江英公と土方巽による"臍と原爆"のみ現在でもyoutubeで観ることができます。寺山が後年に書いたテキストによると、本パンフレットに記載されている、彼の初映像作品 "猫学"のフィルムは1980年頃の時点で、すでに紛失しており、その全貌を知る人はいないと言われています。

このように、作家のアンダーグラウンドな活動の全貌を後年に把握することは極めて難しく、その際、このようなエフェメラが一次的な資料になる場合も少なくありません。

その用途や希少性から一般的ではありませんが、ある有名作家の仕事がエフェメラのみに印刷されていたりと、今後、視覚文化の歴史として体系化されていくことは間違いのないジャンルだと考えています。

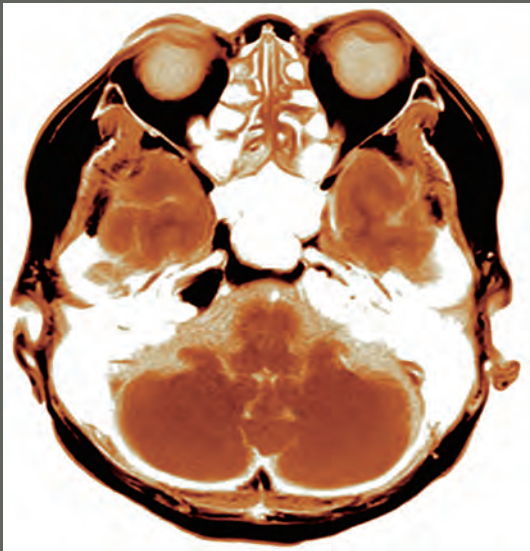


今回はカミングアウトです。僕はだんだんと身体が動かなくなっていくパーキンソン病という病を患っています。これは治療法のない国指定の難病です。また、常に全身が強い痛みに襲われる線維筋痛症という病気にも苦しんでいて、これもやはり治療法はありません。どちらも脳の病気です。

パーキンソンに関しては、鬱病であったりと、誤診断が続き、正式に判明したのは2年前ですが、この2つの病気は5～6年前のほぼ同時期に発症しています。そしてその時期には他にも狭心症で心臓の手術をしたり、椎間板ヘルニアを発症したりと散々な一年でした。詳しくは書けませんが、少なくとも線維筋痛症に関しては原因が判明していて、実はどれも同じ理由かもしれません。

一昨年はほぼ寝たきりのような状態で、展覧会のオフアームもすべて断っていました。これではいけないと奮起、現在ものすごい勢いで創作活動に専念しています。

難病アーティスト、純粋美術家として、残された時間を全うしていく所存です。これからよろしくお願致します。



難病アーティスト宣言 2025
デジタル・グラフィック
脳シンチグラフィー15種339枚の組写真のひとつ

PROFILE

函館生まれ。多摩美術大学大学院卒。現代美術作家、夫規模なインスタレーション作品を中心に、ヨーロッパやアメリカ各地でも個展等を多数開催している。

【心身ともにヘトヘトの自分を癒すためのアレとかコレとか】
松田夏海／HIFスタッフ

（奥入瀬溪流&こけソフト）

本号が発行される頃、桜はもう散ってしまったでしょうか。もっとも、私はこれからの新緑の季節が1年で1番好きなので、上機嫌が続いているはずです。

新緑が美しい場所といえば、昨年訪れた、青森県の奥入瀬溪流が思い浮かびます。約14キロ続く森の中の遊歩道からは、清流や滝など、多くの名所を見ることができ、歩きながら自然に呼吸が深くなる感覚が忘れられません。

一方、奥入瀬溪流へ向かう八甲田山の道路脇には、6月でも1メートルはあろうかという雪が残っていました。「もうすぐ奥入瀬溪流」という雰囲気のパス車内に悲しげなメロディが響き、「八甲田山雪中行軍遭難事件」のガイド音声が流れたときの気持ちも忘れられません。

奥入瀬溪流の玄関口には「奥入瀬溪流館」という施設があり、散策の拠点として便利です。ただ1つ、苦い思い出があります。名物のこけソフトが異様に食べづらく、このテーブルを粉まみれにしました。「どう食べれば正解だったのよ…」と時折思い出すので、ぜひ再訪して、記憶を塗り替えたいと思っています。



右は「マイファイナール」左は名物コケソフト。粉まみれにする5秒前の様子。

うつつ病を疑いながら自分にやさしく生きるアラフィフ女のゆるるだら日記

大地のチカラを求めて市民農園を借りるゝの巻

はがなつのフリーライター

今日も生きづらい。嗚呼、生きづらい。……そして私は唐突に思いついた。かくなる上は、畑だ。土地、母なる大地の生命力にあやかるのだー!（この季節は大地がぐんぐん育つのを嫌でも目にするから、そんなことの影響かも）

というわけで私は一念発起、市民農園を借りて野菜を育てることにした。面積6平方メートル（畳約4枚分が私に割り当てられたスペースで、年間12万円のレンタルは、東京だということを考えると受け入れるしかない。初夏のまばゆい光の下、土を耕し、

種を植え、やがてふっくらした芽が頭をもたげるのを待つ。とても美しい生活の「コマだ。……はい? 畑ですか?」笑われそうだが、東京の（ほぼ）都心暮らしも30余年の身となれば、畑は遠くなりにつれ、さらに白状すれば、その農園は近ごろ首都圏に増殖中の体験型」とか「サポート付き」とかいいうやつで、農具も肥料も種も用意されており、手ぶらで行ける。行けばアドバイザーがいて、何でも教えてくれるのだ。（お金払って畑……）

そうでさね。ある種「レジャー」ですね。いや、でもそれくらいお膳立てがないと、すぐ動けなくなる私の場合はムリ無理むりで、今のところは上々だ。農園まで歩いて20分弱の距離を行けば、よい運動。先日は「土づくりと種蒔き講習会」とやらに赴き、クワの使い方や肥料のさまざまな教わって畝をこさえた。土ってこんなに真っ黒でしっ

る。幼虫も5〜6匹出てきて、指示どおりガシガシ潰し（ごめんね）。「え? それが何?」ふかふかになった土に肥料・牛糞を捲いてさっくり混ぜ、表面を板で平らにならし、マルチシートで覆って完成。微生物の働きで養土になるまで2〜3週ほど待つ。なんて生産的な行為。っていううが、生産そのものでもないね。素晴らしい!（……? だから?）

だから、これが健康だと。健やかな生活の時間だ。……なんて、カッコ書きは皆様のツツコミを想定した言葉だと思っでしよ。違います。何を隠そう、私目の内なる声です。そう。思ったほど面白くないのだ。市民農園、こんなにちほいと明るく挨拶しあったり、親子で楽しそうに支柱を立てていたり、想像できる世界が想像通りに広がって、いて、それに何の不満もないのだが、でも、やはり農業レジャーはレジャーだ。土に触っても（へだから?）なのだ。青空の下、私の心に吹くのは薫風ならぬ隙間風。

「……? だから?」

「……? だから?」

「……? だから?」

「……? だから?」

読まずに死ねるか!

コミックを知らない中高年のためのコミック講座

大下智一／北海道立文学館・学芸員

新連載・第⑩回 「諸星大二郎」



初めて読んだ読後感が、後々まで忘れられない。気づいたら、後に戻れないくらいにはまり込んでいる。そんな漫画家が、クリエイターから異分野の研究者まで、あらゆる方面から絶大な支持を誇る諸星大二郎（1949年生）です。民俗学、考古学、人類学的な考察とスケールの大きな作風で、幅広いジャンルに渡って独自の世界を築き上げており、デビュー50年を超えた現在でも描き続けています。

その諸星大二郎の作品から一つ、となると選べるものではありませんが、本日の気分で、『私家版魚類図譜』（2007年、講談社）をあげることにします。

こちらは、『私家版魚類図譜』に続いて、「魚」をテーマとした七つの短編からなる作品集です。深海に住む人魚たちの生活と、深海艇の中にいた男性を見てしまったことで、人間の世界に憧れる人魚の思いを、現代的に描いたファンタジー「深海人魚姫」。宋の皇帝の命を受け、真珠の涙を流すという「鮫人」を探す旅に出た将軍がたどり着いた村での話を描いた「鮫人」。廃墟で暮らす近未来の子どもたちが、「魚」を探して海へとたどり着く「魚が来た!」。「魚」の特技を教わる「魚の学校」に紛れ込んだ女子高生が、魚や魚に飲み込まれた聖書、小説の登場人物と繰り広げるほのぼのとした「魚の学校」。家庭でも会社でも息苦しさを感じる魚好きの男が、徐々に夢のなかでみた魚と入れ替わるように海へと帰る「魚の夢を見る男」。人間となった人魚が海洋学の世界で活躍し、はじめて見た男性と深海艇で再び深海へと向かう、「深海人魚姫」の結びの話「深海へ還る」。そして、楽屋落ちのような掌編

「ネタウナギ」の七編を収録。SF、神話、社会風刺と、諸星ワールド満載の一冊です。そうした本編もさることながら、作中に登場した虚実それぞれの「魚」たちが真横から描かれた表紙と、勢揃いしたカラー一冊が博物画を思わせ、まさに「諸星版博物図譜」とも呼べる作品です。

なお、諸星ワールドを余すところなく紹介した展覧会（自画自賛!）、「諸星大二郎 異界への扉」展（2020～21年、北海道立近代美術館ほか全国5会場）の公式図録も、あわせてご覧ください。

また、今年開催される、「国際芸術祭あいち2025 灰と薔薇のあいまに」（9／13～11／30）でも、諸星大二郎作品が出品されます。乞うご期待です。



「私家版魚類図譜」（2007年、講談社）

私の[思い出の味]／ニュージーランド「シェパーズパイ」 谷川真弓子

ニュージーランドの大学で国立公園管理学について学んだ谷川真弓子さんにとって、留学中の思い出の味が「シェパーズ・パイ」に代表される肉や魚を使ったパイ料理の数々だ。元はイギリス料理だが、移民の多いこの国でも家庭料理として定着しており、ホームステイ先や大学の学食でよく食べていたという。

ニュージーランドの家庭では、夕食に肉と野菜をオープンで焼く「ロースト料理」を作ることが多い。そして、パイ料理は、そんなロースト料理の翌日に登場することが多い。

作り方はいたってシンプル。前日の夕食で余った、ローストされた肉や野菜を細かくカット。肉を焼いた際に出た肉汁にも調味料を追加し、ソースとして活用。みじん切りの玉ねぎやにんにくなども一緒に炒め合わせて、中身の具が完成する。それをグラタン皿に盛り、マッシュポテトをのせて、チーズをかけ、焼き目がつくまでオープンで焼いたらできあがり。酪農大国ニュージーランドでは、羊肉と牛肉が日本に比べて安価なため、食卓によく登場する。どの家庭にもチーズおろし器があり、チーズはキロ単位で購入するのが当たり前。シンプルな料理だからこそ、おいしいチーズをたっぷり使って作るのがオススメだ。

シェパーズパイ／シェパードとは羊飼いの意。イギリスの伝統料理で本来は羊肉を使ったものをシェパーズパイ、牛肉を使ったものをコテージパイと呼ぶ。どちらもパイ生地ではなくマッシュポテトを使用するのがポイント。

特別な出会いを体験してみませんか？

● 第44回夏のつどい ホストファミリー募集

「夏のつどい」は、1979年から実施している

在日留学生を対象としたホームステイプログラムです。日頃は日本国内の大学や日本語学校で勉学に励んでいる留学生が、日本の家庭生活と、北海道の夏を体験するためにやってきます。北海道国際交流センター（HIF）では、留学生を受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。留学生との会話は日本語が基本ですので、英語が話せなくても心配ありません。長いようで短い8月9日。留学生とホストファミリーにとって、特別な夏の思い出になるはずです。ホストファミリー初挑戦の方も歓迎です。ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。



国際交流のつどい／8月9日ホームステイ

【受入期間】8/22(金)～8/30(土) ※8月9日
【募集エリア】七飯町、森町、長万町町
【募集条件】プログラム内容をご理解の上、ご家族全員の同意を得ている方。留学生の国籍等は事務局の意向に添って頂ける方。
【募集家庭】20家庭
【参加学生】日本国内の大学、日本語学校、専門学校等に在籍している18歳以上の留学生。約8割がアジア圏出身。
【受入人数】1家庭につき1～2名。
【申込締切】7/25(金)
※定員に達しない場合は延長あり。
【申込み・問合せ先】北海道国際交流センター（HIF）
TEL：0138-22-0770 FAX：0138-22-0660
E-mail：tudoi@hif.or.jp
後援/函館市・函館市教育委員会・七飯町・七飯町教育委員会



技能実習生に体験してもらいたい！

● 着物・茶道体験 (技能実習生向けイベント)

北海道国際交流センターでは、普段は勉強や仕事で忙しい技能実習生の皆さんに、日本での思い出を作ってもらえるようなイベントを毎年開催しています。今年は、着物の着付けや茶道などの日本文化を体験できるイベントを企画しました。素敵な着物に袖を通し、函館西高校で茶道を教わりながら、生徒たちと交流会を行います。

技能実習生ご本人はもちろん、技能実習生が働いている企業の方、受け入れ監理団体の方など、お気軽にお問い合わせください。

函館市元町14-1
函館西高等学校 函館市元町7-17
【参加費】 無料
【申込み・問合せ】 0138-22-0770



台湾の祝日グルメに挑戦

● 世界の料理教室

毎年好評の料理教室シリーズ、今年度の第1回目は「台湾の祝日グルメ」。メニューは、粽子(zongzi ツォンズ)、醃漬黃瓜(yān zì huáng guā ピンイン)、雪花餅(xuě huā bǐng セッカピン)、の3品です。台湾では旧暦の5月5日に端午節という、ちまきを食べる風習があります。端午節は台湾の三大節句でもあり、この日は台湾式のちまき「粽子」を食べ、無病息災を祈ります。そのほか、家庭の食卓によく並ぶ台湾式きゅうりの漬かけ「醃漬黃瓜」や、台湾の伝統的な菓子「雪花餅」を作り、みんなで台湾の食文化を体験します。講師は函館在住の台湾の方です。

【日時】6/7(土)11:00～15:00
【会場】北海道電力ネットワーク株式会社(株)道南統括支店キッチン
函館市千歳町25番15号
※無料駐車場あり

【参加資格】どなたでもご参加いただけます
【定員】20名 ※先着順
【参加方法】右記の申込みフォームより、5/30までにお申し込みください。



春うらら…、農園で国際交流。

● 野菜の種まき & オリジナルかかし作り

本格的な春がやってきました。今年も亀尾ふれあいの里で国際交流イベントを開催します。

校豆とトウモロコシの種をまいてみませんか？本格的な種まきを体験できる貴重な機会です。また、畑の作物を守るかかし作りにも挑戦しましょう。やさしい、こわい、かっこいい、好きなキャラクターなど、あなただけのオリジナルかかしを製作してください。オリジナルかかしは亀尾ふれあいの里に設置し、かかしコンテストも行います。青空の下で、農園ならではの体験をしてみましょう。

【日時】5/17(土)11:30～16:00
※雨天の場合は延期の可能性あり
【場所】函館市亀尾ふれあいの里
函館市米原町126-3
【定員】30名
【問合せ・申込み】0138-22-0770



良い例を示すことができ反省する場面もありましたが、一方で留学生の皆さんとの交流は本当に楽しかったです。文化の違いや共通点、留学生自身のことを知る度に新たな発見の連続でした。授業に行く回数が増えるにつれて顔見知りの留学生が増え、少しずつ色んな留学生と声を掛け合えるようになると親近感が湧きました。高校、大学共にJJに関わる大変貴重な機会をいただけたことは、将来へのステップアップに繋がっていると感じています。

現時点で、将来の進路を明確にすることはできていません。大学で主に学んでいる福祉分野での就職も検討しています。福祉と日本語の分野は一見結びつかないかもしれませんが、今回のJJでの実習を通して個人との関わり方という点ではどこか近いところがあると感じました。JJでの学びを活かすことができよう、今後も学び続けていきたいです。



PROFILE

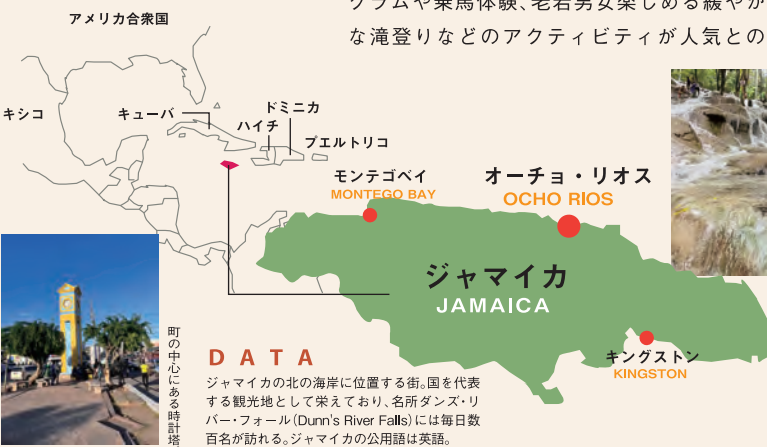
函館市出身。北海道教育大学函館校 教育学部 国際地域学科 地域協働専攻 地域政策グループ4年。大学では、社会福祉・児童福祉学を学んでいる。趣味は書道。

※JJでは、北海道教育大学函館校で「日本語学習支援実習Ⅰ」（担当：佐藤香織教授）を履修している学生が、実習生として様々な活動（日本語クラス、日本語サークル、課外活動など）に参加し、留学生と学び合いながら交流を深めています。

中央アメリカ、カリブ海に浮かぶ島国ジャマイカ。夏の終わりのハリケーンには要注意だが、温暖で1年を通じて過ごしやすい気候が続く。

ロコさんの故郷オーチョ・リオス（Ocho Rios）は、スペイン語で「8つの川」を意味する。名前の通り、川や滝などの自然が豊富で、12月から8月までのシーズン中は毎日のようにクルーズ船が寄港。地理的に近いアメリカや欧州を中心に、世界中から大勢の観光客が訪れる。ビーチでのイルカとの触れ合いプログラムや乗馬体験、老若男女楽しめる緩やかな滝登りなどのアクティビティが人気との

● マイホームタウン／私の故郷



ことだ。一方、ロコさんにどんな子ども時代を送ったかと尋ねると、意外な答えが返ってきた。街には個人経営のゲームセンターのような店があり、そこは日本の家庭用ゲーム機を大きなモニターに繋いでいて、時間制でゲームが楽しめる。家庭用といえどもゲーム機は高価で、各家庭で購入することは難しい。ロコさんと友人たちは小遣いを握りしめて店に出かけ、みんなで対戦に興じていたという。後に忍者や城などの日本文化に関心を抱くロコさんが、この時はそれが日本のものだ意識していなかったという。



左上／夜のビーチ。 右。左下／タートル・リバー・パーク向かいのギャラリー兼クラフトショップ。地元アーティストの作品を購入する観光客も多い。

「マリオやスマブラ、ゼルダなどのゲームで遊びましたね。もっとも子供の頃は日本のものだとなんて、マリオはアメリカのキャラクターだと思ってたんです」と可笑しそうに教えてくれた。



PROFILE

日本文化に興味を持っていたところ、妹が日本で働ける求人広告を偶然見つけたことが来日のきっかけに、2025年3月まで北斗市内の小中学校でALT（外国語指導助手）として活躍。

今号のCLIP外伝

中村ひでのり／本誌編集人

本誌の作業は、取材と原稿、レイアウト、表紙の制作、連載の原稿依頼と控えめな催促、そして下手くそな写真撮影…と、とにかくなんでもやっています。でもそれは予算の関係上、仕様がありませんし、結構楽しんでやっています。

こんなに何でもかんでも自分でやるのは、20代前半に勤めていた編集ブログで1年ほど担当した東京・某区のタウン誌以来です。当時はまだPCなんてない時代。すべてが手作業でした。何日も家に帰らず、机の下に段ボールを敷きそこに寝そべて仮眠をとるといったことがよくありました。女性社員も同様だったので、ジェンダー差別に関してはクリアですね。

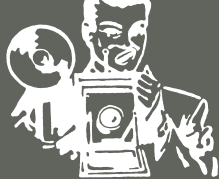
休日出勤も多いのですが、もちろん時間外手当はつきません。今で言えば完全なブラック会社ですが、やればやるほど仕事が

PROFILE

北斗市（旧大野町）生まれ。東京でデザイン・編集の仕事をし、40歳の時にUターンし飲食店を起業。10数年前からまた元の仕事にも手を出し始める。

身についていくのが実感できて、逆に自分から進んで残業していたぐらいです。もちろん、それが辛くて辞めていった社員もいますし、上司から怒鳴られている社員もいました。第三者が見ればハラメントだと思える場面はたくさんありました。でも自分は楽しんで働いていたし、その後、独立してもなんとかやっていけるスキルと忍耐強さを学ばせてもらったと、あの会社には本当に感謝しています。

ただ、当時のカメラマンの世界は過酷に見えました。自分のアシスタントにやたらと辛く当たった人が多く、「そのライト、もう少し右に動かしてくれ」と普通に言えいだけなのに、「ためえ早くそれ動かせよ馬鹿野郎！」と、それがルーティンのようにいちいち怒鳴るので、見ているこっちが気分が悪くなったのを覚えてます。



（ かるやかにおもいを包む。）

ピロシキ屋の世界愉快化計画

北見伸子／まるたま小屋店主

子どもの頃、新しい遊びをよく作った中에서도ヒット作は小6の時の「ドンバラ」。教室の後ろで、仁王立ちする私の前に友が背を向けて立。私はお腹をグイグイと後ろにそらすと思いつき、「ドンバラ！」と叫んで相手の腰を打つ。友は柔らかな衝撃を受け、けけケケと笑いながら、自力も加えて反対端まで飛んでいく。さながら私はロケット発射台だ。休み時間になると、我も我もとドンバラ行列ができた。

そんな私（どんな私？）が元町で焼きピロシキとボルシチの店を始めて4月で丸10年。「なぜ焼きピロシキの店を？」とよく聞かれるが、函館は日本で最初にロシア領事館が置かれた場所、日本人にとってピロシキは「揚げ」だが、本場では「焼き」がメインで、具も惣菜系から甘い系までさまざま。北海道は気候も近く、使う食材は生産量一位でおいしいものが作れるから、と答えたい。しかし実は飲食店でバイトすらしたことがなく、いろんな人にカスタムメイドで仕事を作ろうと思ったのが始まりで、食べ物があれば人が集まり、仕事が生まれるという甘い考えで飲食店に、地元野菜を使ったランチなどを出してみたが、つまらないし儲からない。困った！と思ったとき、函館で出会ったロシア料理店「カチューシヤ」の焼きピロシキの感動を思い出し、紆余曲折で今に至る。こうして続けてこられた根っこに、「ドンバラ」思想がある気がする。新しい遊びを考えて、ささやかなテンペンチイで人を喜ばせたいのだ。ピロシキにはその可能性がある。焼きピロシキのキャッチコピーは「かるやかに思いを包む」。生産者や作り手の思いをすっきりとした具で包みこみ、軽やかに焼き上げる

PROFILE

千葉県千葉市生まれ。焼きピロシキとボルシチの店「まるたま小屋」店主。ソユーズはここで焼きピロシキ代表。函館在住26年。双子を含む4人の母。猫二匹とシベリアンハスキーと暮らす。カーネルサンダースと同じ誕生日。座右の銘は、「楽しくなければ正しくない」



家族のため、地域のために、
昆布の魅力为全国に発信し続ける日々。

市内尾札部町で、昆布の加工商品の製造販売を行う能戸フーズ（株）の代表・能戸圭恵さんが、「昆布村」の名でネット販売を始めたのは2005年のこと。当時、能戸さんは築地の水産物卸し会社に勤務する夫と東京に住んでいた。義父が尾札部町で水産加工会社を営んでおり、夫はいずれ後継者となることが決まっていた。自分も何か力になれないか。そう考えてスタートしたのが「昆布村」だった。尾札部町は日本有数の昆布の産地。北海道で唯一、献上昆布に選ばれたというほどの品質は広く知られている。能戸さんがそれを「昆布村」のサイト内で紹介し、受注。義父の会社から発送するというものだった。

「最初はなんの知識もなく、まずパソコンを購入するところから始まりました。教室に通ったり専門書を読んで勉強したりと手探りで準備をし、ようやく立ち上げたサイトに初めて注文をいただいたのは1、2ヶ月後のことです。受注を確認したのは夫と子どもたちが寝静まった深夜でした。あの時は涙が出るほどうれしかったのを覚えています」。

その2年後、家族で北海道へ移り住み、キャリアを積むために八雲の水産会社に1年間勤務した夫は、その後義父の会社で働き始める。やがて、4人目の子どもも産まれ、育児や仕事に追われながらも充実した日々を送っていた能戸さんだったが、ある日、「会社がもうダメだ。助けて欲しい」と夫から告げられる。義父の会社が経営不振に陥り、再建は難しいという。結

能戸圭恵

能戸フーズ 代表取締役

PROFILE

函館市生まれ。市内の大学を卒業し、銀行に勤務。その後上京し、広告代理店に入社。結婚・出産を経て2007年に家族と共に市内尾札部朝に移住。2014年より現職。
「昆布村」公式サイト：https://www.konbumura.co.jp



PROFILE

函館生まれ。障がい者の相談員、行政の女性相談員を経て、現在は函館銀大専任講師。専門は家庭支援論、社会的養護、小児保健など。



「清く正しいオトナ養成講座」
第8回／昔話で考えるジェンダー

川村幾代／函館短期大学専任講師

『モ』

モタロー・ノーリタターン＆サルカニ・バイオレンスという本があります。この本は、昔話を切り口にジェンダーについて考える視点を提供してくれる非常にわかりやすい一冊です。

昔話「桃太郎」は、誰もが一度は聞いたことのある物語でしょう。おじいさんが山へ芝刈りに行き、おばあさんが川へ洗濯に行くという場面から始まり、大きな桃から生まれた桃太郎が鬼ヶ島に向かい、鬼を退治して財宝を持ち帰るという痛快で力強いストーリーが展開します。

しかし、この本では「昔々あるところにおばあさんとおじいさんがいました」と始まり、私たちが無意識に受け入れてきたジェンダーの固定観念を問い直します。私自身も、子どもの頃にこうした昔話を自然に受け入れて育ちました。学校のクラス名簿は男子が先、女子が後という順番で書かれていたのが当たり前で、それを疑問に思うこともなく受け入れていたのです。しかし、私の子どもが小学生になり、初めて混合名簿を目にした時、それまで自分が無意識に受け入れていた

ことに気づかされました。このように、ジェンダーに関する固定観念は、知らず知らずのうちに周囲から刷り込まれていることが多々あります。昔話は単なる物語ではなく、そこには時代の価値観や文化が反映されており、昔話を通じて無意識のうちに性別や役割について固定的な考え方を学んでいる可能性があります。

もちろん、昔話にはその時代の英知や教訓が詰まっており、全て否定するつもりはありません。むしろ、昔話をもっと一度見直し、新しい視点から解釈することで、私たちが見落としていた問題や価値観を再発見できるのではないのでしょうか。そして、それを通じてジェンダーについて考えるきっかけを得ることができます。ジェンダーの問題を考える上で重要なものは、学校の名簿が「男子が先、女子が先」あるいは「おじいさんとおばあさんがいました」という順序の問題ではなく、人として最も基本的な違いは男女の差ではなく、「一人ひとりの違い」ということです。



PROFILE

函館生まれ。障がい者の相談員、行政の女性相談員を経て、現在は函館銀大専任講師。専門は家庭支援論、社会的養護、小児保健など。

CINEMA & BOOK
女性におすすめの映画＆本

主人公は、1994年のソウルで暮らす中学2年生の少女、ウニ。スクリーンに映し出されるのは、家庭や学校、友人関係などウニの身近で起こる小さな事件の連続だ。しかしここには、14歳のころが抱える孤独とやるせないさが染み出し、同時に、急激な経済成長の歪み、過剰な学歴社会、家父長制の影といった当時の社会も浮き上がる。どんな時代に育ち、もの思うようになったかは、時代の影響を受けずにはおれないのだ。すれ違いばかりの日々の中、ウニは漢文塾の女性教師ヨンジによって開かれていくのが……。



監督 キムボラ
出演 バクシフン、キムヘンヒョク
韓国、アメリカ
2018年

チベット自治区出身の女性作家が、チベットに生きる女性の「今・ここ」を、チベット語で著した稀有な作品。物語は、それぞれに事情を抱えて地方から都市に上った4人の女性たちを描く。魔都ラサで権力や欲望の犠牲になり、ナイトクラブで性労働に従事するようになる現実はありません。過酷だが、花にちなんだ源氏名をもつ彼女たちは、寄り添い合い、底い合って、なお生を強く肯定する。家父長制、貧困、性暴力、ミソジニー……、そして、業と輪廻の世界観。多くのテーマを突きつけられる。



『花と夢』
ツェリン・ヤンキ／著 星泉訳
春秋社

W O M E N ' S T O P I C

女性にとって、アイスランドは夢の国なのか？

世界経済フォーラム（WEF）が発表した2024年の「ジェンダーの格差に関する調査」によると、146か国中、日本は118位らしい。もちろん、順位が下に行けば行くほど格差が大きいということになり、不名誉な結果だ。WEFとは、経済や環境など、世界が直面している問題に対する経済界の取り組みを促すことを目的にスイスで設立された民間非営利の国際機関。この団体の公平性などにはさまざまな指摘もあるが、ひとまずそれは置いておくことにして、日本が「政治や経済分野で指導的地位にある女性が極めて少ない」「経済分野では男女間賃金格差が大きい」「大学や大学院での高等教育の順位が低い」と指摘されていることは真摯に受け止めるべきだろう。

この調査で15年連続で1位となっている国がアイスランド、それに2位フィンランド、3位ノルウェーと北欧の国が続く。現在、アイスランドは大統領と首相がともに女性であり、国会議員数は定数63のうち女性が30議席、閣僚も11人のうち7人を女性が占めている。特にフロスタドッティル首相は、36歳という若さで育児中の母親ということが話題となった。



アイスランドの首都レイクjavik

さて、アイスランドが女性の社会進出にとってバラ色なのかというと、そこは冷静に見る必要があるかもしれない。この国は「職場におけるハラスメント」に関する調査結果でも、常に上位に位置している。特に、職場で性的暴力や性的ハラスメントを経験した割合が高いという数字がある。また、他の北欧諸国も同じように思わしくない結果が出ている。ただ、これを好意的に見れば、ハラスメント問題に対して敏感で、人権尊重の認識がむしろ高い国と取れないこともないのだが、果たしてどうなのか。

どちらにせよ、よその国のことは別にして、日本は自国の問題にしっかりと取り組まなくてはならないことだけは確かだ。

海の向こうの「女」たちの事情。

「サハリンの場合」

話し手／リラ ● サハリン生まれ、ユジフ・サハリンスクやコルサコフで暮らす。21歳でソ連国境を越え、来日8年目。

サハリンはロシアが管轄する地域で、ロシアの東端、北海道の北に位置しています。

私が10代の頃、ロシアは「ソビエト連邦」の時代。15、16歳ぐらいで、大学へ行くための勉強をするか、就職を見つけて専門学校（職業訓練）に行くかを選択しました。私は専門学校へ進み就職し、19歳で恋愛結婚しました。当時はこのぐらいの年齢で結婚する女性は珍しくありませんでした。男性の方が経済的に豊かでしたが、時代や産業的に力仕事が多く、「きつい肉体労働だけど高収入」な仕事に男性が就いていたことも関係しているでしょう。

現在は大学へ進学する女性も増え、結婚する年齢は遅くなっていくようです。経済的に自立し社会で活躍する女性も多く、女性の社長や管理職も珍しくありません。スーパーなど身近な場所でも、店長として働く女性をよく見かけます。子育てには手厚く、妊娠7か月から産休に入ることができ、子どもが1歳半になるまで育児給付金が支給されます。

人々の意識の話ですが、昔は店員などの接客業は「女性の仕事」とみなされることが

多かったのですが、最近ではそうした職種による性差はなくなってきました。

一方、レディファーストの文化が根付いており、地下鉄では男性が女性に席を譲る光景がよく見られます。食事の際は、男性が女性におごるのが一般的です。



サハリン・ユジフ・サハリンスク

また、サハリンでは海辺でBBQをすることが多いのですが、肉を焼くのは「男性の役割」と考えられています。こうした男性らしさへのこだわりは残っている気がしますね。

3月8日の国際女性デーは、ソ連時代から続く大事な祝日です。この日、男性は朝から花屋に並び、妻や恋人、母や娘に花を贈ります。人によってはアケセサリイ（お金持ちのなかには車を贈ったなんて人もいます）よ。職場でも上司が女性の部下たちに、ちょっとしたプレゼントを配ったりして、感謝を伝えています。

・本記事は、外国人女性に、母国の女性が抱えている悩みや困難について率直にお話いただいています。「話し手」というフィルターを通しての情報であること、ご理解ください。

函館市女性センターが主催する、5・6月の[講座]の中から注目の講座をピックアップ！

●講座名	●日時	●講師	●定員	●受講料等	●内容
力を合わせてお料理しよう！ パパとクッキング	5/10(土) 13:30-15:30	輪島美哉子 函館洋菓子協会 理事	親子 6組 12名	1,500円	母の日にスイーツを作ってお母さんにプレゼントしよう！メニュー／カルピスチーズケーキで作る花束フルーツ
楽しく学ぼう！ 使える日常英会話	5/17・24・31・6/7(土) 13:30-15:00(連続4回)	Miki Vivian Suzuki 英会話講師	24名	無料	観光都市函館の市民として、実際の会話で使える英会話を英会話講師から学び、会話を楽しみましょう。
女性の精神科医による 女性のためのこころとからだの相談	6/4(水) 14:00-16:00(1人30分)	加藤知子 かとうメンタルクリニック 副院長	4名	無料	人間関係や体調の問題など、女性が抱える様々なこころやからだの悩みに、女性の精神科医が応じます。
就職のためのパソコン講座 「ワード」8回コース	6/6～8/1(金) 18:30-20:00(連続8回)	中村隆利 IT POCKET 代表	6名	無料	就職を目指す人が、パソコン技術(ワード)を身につけるための少人数制の講座です。※パソコンの立ち上げや文字の入力ができる方向け。
年金・退職金を活用しよう！ 男性のためのライフプランと家計管理	6/7(土) 14:00-16:00(1人30分)	若山竹見 ファイナンシャルプランナー	4名	無料	お金の運用や管理など、お金のさまざまな疑問について、ファイナンシャルプランナーに話を聞いてみましょう。
歌でいきいき、楽しい時間を 音楽ひろば	6/16(月) 14:00-15:30	相田日芽／原田 咲 歌友会は 主幹・函館市青少年合唱団 指導員／ 函館市青少年合唱団 ピアニスト	36名	無料	唱歌や歌謡曲をピアノの演奏とともにみんなで歌い、楽しいひと時を過ごしましょう。

※各講座の申し込み締め切りは、函館市女性センターまで。
※募集対象は函館市民または市内在勤の方です。
※申し込み多数の場合、抽選となります。
※申し込みは、各講座に設定している申し込み受付開始日から、電話・ホームページ、または女性センターの窓口にて受け付けます。
※詳細は講座ごとのチラシ、または「函館市女性センター」ホームページをご覧ください。また、女性センター内には、約2カ月前より、講座受講者募集のポスターを掲示しております。随時ご覧の上お申し込みください。
※託児可能な講座もあります。申し込み時に問い合わせください。

函館市女性センター

函館市東川町11番12号
TEL. 0138-23-4188 FAX. 0138-23-4189
開館時間／9:00～21:00
休館日／日・祝日・年末年始（12/29-1/3）
info@hakodate-josen.com
https://www.hakodate-josen.com



道南イベント情報いろいろ。

四季の杜ボタニカルフェア 2025春

人気イベント「四季の杜ボタニカルフェア」が今年も開催される。寄せ植え体験や花苗販売などのマルシェ、ボタニカルワークショップなどが企画されているので、楽しみながら植物やガーデニングへの関心を深めて欲しい。各ワークショップは材料費がかかるものもある。

【日時】6/8(日) 10:00～15:00

※小雨決行

【会場】
道南四季の杜公園(花の丘ゾーン)
函館市亀田中野町199-2
【主催・問合せ】
(一財) 函館市住宅都市施設公社
(四季の杜公園管理事務所)
0138-34-3888



大石学・米木康志DUOライブ

函館大門にあるjazz spot Leafでは、不定期で厳選したライブを開催している。6月はジャズピアニスト大石学と、長年の朋友であるベーシスト米木康志のデュオライブを開催。函館出身の米木康志は、昨年、病氣療養。今回は復讐後初の函館でのライブとなる。予約前売は「Leaf」ホームページで購入可能。

【日時】6/19(木)

開場18:30／開演19:00



【会場】jazz spot Leaf

函館市松風町7-6

【出演】
大石学(ピアノ)・米木康志(Eベース)
【料金】
予約前売3,500円／当日4,000円
(共に別途要1ドリンクオーダー)

【予約・問合せ】
https://hakodatejazzleaf.wixsite.com/leaf-hp/events/choishiyoneki2025

ふるる函館 スポーツキャンプ

函館市青少年研修センター(ふるる函館)では、小学生を対象にした1泊2日のスポーツキャンプを開催する。チームで様々なスポーツを協力しながらプレーし、函館山への登山も予定されている。5/25(日)8時45分からメールにて参加の受付を開始する。服装や持ち物は、ふるる函館の公式ホームページを確認してほしい。

【日時】6/21(土)13:00～

6/22(日)～11:30

※1泊2日

【対象】小学3年生～6年生(定員50名)

【参加費】2,500円

【申込方法】5/25(日)8:45からメール
(info@fururu.or.jp)にて受付。

【場所・主催・問合せ】

函館市青少年研修センター(ふるる函館)

函館市谷地頭町5-14 0138-23-5961

※電話での申し込みは不可。



HELLOマルシェ in 航路

P I C K U P

「これから広がっていく素敵なお店」をコンセプトに、実店舗を持たないお店が多数集まる「HELLOマルシェ VOLUME2」が函館末広町の航路で開催される。焼き菓子やドリンク、雑貨の他、厚沢部町にある農家直営おむすびカフェ「むすび」の特製弁当も販売。ライブも開催予定なので、こだけの出会いを楽しみながら、ゆっくりと時間を過ごしてみては。

【日時】6/7(土) 11:00～17:00

【会場】航路/kohro

(旧 街角NEWCULTURE)

函館市末広町12-8

【問合せ】齋藤颯生(HELLO代表)
@hello.090309



「日本語サロン」のボランティアを募集中!

P I C K U P

函館市及び近郊在住の外国人のための日本語学習支援を行っている函館日本語教育研究会(JTS)。毎週土曜日、日本語の勉強や会話の練習をする「日本語サロン」を開催しているが、会員としてサロンに参加する「日本語ボランティア」を募集している。対象は、日本語教育に興味・関心のある人。事前に問合せのうえ、函館市青年センターで開催中の「日本語サロン」を見学し、入会を検討してほしい。

【日時】毎週土曜日

10:30／受付

10:45～11:45／学習タイム

(勉強や会話の練習)

11:45～12:15／交流タイム

【場所】函館市青年センター



函館市千代台町27-5

【会費等】

入会費1000円、年会費2000円

※見学は無料

【見学申し込み・問い合わせ】

jtshakodate@gmail.com

※見学には事前の連絡が必要です。

J T Sの活動に関しては、公式

ホームページをご覧ください。

https://takako9.wixsite.com/nihongo-jts

大沼の自然に学ぶ アートの学校



函館在住のアーティストささきようすけ氏が講師を務めるアートスクール「ヤマーネコノヒゲアートスクールおぬま」が5月31日より開校される(全6回)。大沼の自然に触れながら、美術を通して自分を表現する方法を学ぶ。午前の部ではテーマを設けて、作品制作の基本的な方法を学び、午後は好きな素材を選び、自由なテーマで作品を制作。最終的には生徒みんなでグループ展を開催予定とのこと。午前・午後どちらかだけに通うことも可能。

【日時】初回5/31(土)

※月1回程度、計6回開催

午前の部 10:00～12:00

午後の部 13:00～15:00

【会場】大沼国際セミナーハウス

七飯町大沼町127-1

【対象】午前の部 概ね小学5年生以上

午後の部 概ね小学生以上

【料金】午前の部:24,000円

午後の部:20,000円

1日:44,000円

※入会金込、全6回一括払いの場合。

※詳細はホームページを。



5月16日(金) 18:30～20:30

5/17(土)18:00～20:00

【会場】

おひるごはんカフェ taom

函館市末広町9-9

カルチャー センター 臥牛館 1F

【定員】各日8名

【参加費】8,000円

【予約・問合せ】

taom_gohan@mikanbako.info

北方民族資料館 学びを深める講座＆ツアー

函館市北方民族資料館では、アイヌ民族の木彫り技術の再現に挑戦する「アイヌクラフト～木彫り編」を6月14日・15日に開催する。2日間かけて制作するため、アイヌの伝統工芸の奥深さをより体験できる内容となっている。5月14日より申し込み受付。なお、同資料館では、月1回テーマに沿って展示品について解説する「ツアー・マンスリー」も開催中だ。アイヌ文化に興味のある人は、こちらもチェックしてみては。

●アイヌクラフト～木彫り編～

【日時】2日間連続講座

tsu@the table gallery

「ツ・アット・テーブル・ギャラリー」5月の展示

ムラカミコウスケ 個展／「写線」



函館市北方民族資料館

函館市末広町21-7 0138-22-4128

※アイヌクラフトは5/14(水) 9時より受付開始。

※ツアー・マンスリーは、各回開催日の1カ月前より受付開始。

わんにゃん Love マルシェ

動物保護活動を応援するチャリティイベント「わんにゃんLoveマルシェ」が5/17、5/18の2日間にわたって開催される。ハンドメイド販売・ワークショップ、リラクゼーション、雑貨販売など、2日間合わせて40ブースが集まり、出店者は売上金の一部を犬猫保護団体に寄付する。当日は保護団体へ直接渡す犬猫用品をはじめ、全額売上寄付コーナーで販売するための日用雑貨等の寄付も受付する。「動物のために何かしたい」という気持ちを持っている人は、ぜひ来場してほしい。

【日時】5/17(土)・5/18(日)

10:00～17:00

※譲渡会は10:00～14:00



水沢そら個展 「だれかに、すむまきかかれたら」

函館出身のイラストレーター・水沢そさんの個展が開催される。「函館で生まれ育った時間よりも、東京と呼ばれる街で重ねた時間の方が遥かに長くなっていることに、ある日ふと気がつきました」と語る水沢さん。これまで、書籍の装丁や挿画の他、広告関連の仕事など数多く手掛けてきた彼が、生まれ故郷で初めて行う展覧会だ。函館市民なら誰もが知るフレーズ「だれかに、すむまきかかれたら」を本展のタイトルとしていることから

EDITORS' NOTES

●北海道は何回も春を感じる瞬間がある。雪が解けて川が勢よく流れている時や山肌の雪が少しずつ、緑になってゆく時。たんぽぽやフキノトウが芽吹き、木々がライムグリーンに染まるとき。そして、ぽかぽかと陽気が感じられる時、北国の生活の幸せがある。(池田)

●諸事情により、我が家のテレビでは「ふてほど」が今も時々流れています。もうセリフや歌を覚えてしまいうらい。第3話「可愛って言っちゃダメですか?」は、CLIP号で扱ったハラメント関連です。ドラマ関係者でも何でもありませんが、まだの方はぜひご覧ください。(纒坂)

●「さくら」のブレンドエッセンシャルオイルをもらった。「さくらは梅ほど香らないのに、どう香りを表現するのだろうか?」……何度嗅いでも、桜葉の塩漬や、桜餅の香りです。いずれにしろ、北国の百花繚乱・花の季節がやってきました。(谷川)

●私は昔から朝が弱い。毎日朝起きるとき絶望しながら起きている。よく「年を重ねるといやでも早く起きてしまおう」と先人たちから聞か、まだ信じていない。※新年度からクルーズ業務の担当になった。朝7時から現場へ出向く日が続く。覚悟を決めなければ。(澤口)

●最近、自分がずっと面白いと思っていた作品が立て続けに注目され、映像化に至っています。…ついに時代が私に追いついたようです。わかっていまず。多数が面白いと思う作品だから、話題になるんです。1回言ってみたかったんです。(松田)

●日本人のサクラへの情熱はいつからなのか、ふと考えました。きっかけはドイツにいる兄が見せてくれた桜並木の写真。反応ほぼ無し、誰も写真撮ってなかった。日本人ら人でぎゅーぎゅーになることでしょう。(近藤)

●ハラメントをまとめているウェブサイトをのぞいてみると、めちゃくちゃ理不尽なものがありました。「フリージングハラメント→隣の人の呼吸音が不愉快だと感じる行為」。呼吸音はさすがに…(笑)。文字で見るとくだらないですが、本人にしてみれば深刻なかも…。(吉田)

●今号から、3つの新しい連載が始まった。その中の「読まずに死ぬるか!」は、前号まで「函館のアートな時間」を担当してくださっていた大智留一氏に引き続きお願いしている。北海道立函館美術館の学芸員だった彼が、この春、札幌の北海道立文学館へ移動となったことを機に、氏が筋金入りの漫画オタクであることから、是非にとお願いした。今後の連載、どうぞお楽しみに。(中村)



編集部からのお願い

●本誌に音楽ライブや展覧会、講演会、各種講座等などのイベントやボランティア募集に関する情報をお寄せください。できる限り掲載いたします。また、設置場所を募集しています。設置についてはサイズも大きいので「ジャマだ」という声も聞こえてきそうですが、どうぞよろしくお願いします。

HIF内 CLIP編集部／0138-22-0770(担当:松田・谷川・吉田)

中村事務所／090-7051-0624 leaves-x@sea.plala.or.jp

発行人／池田 誠
編集人／中村ひでのり
CLIP HAKODATE 編集部
纒坂麻規子、松田夏海、吉田 楓、
谷川真弓子、近藤愛子、吉村美悠、
澤口ありさ
編集協力／工藤 蒼、福田琢磨
デザイン／(株) 中村事務所
表紙イラストレーション／H. Nakamura

2025年5・6月号(隔月発行)

2025年5月1日発行

次号は2025年7月発行です。

（一財）北海道国際交流センター（HIF）
040-0054 函館市元町14-1
TEL. 0138-22-0770 FAX. 0138-22-0660
E-mail: event@hif.or.jp
https://www.hif.or.jp